

ウォーターPPP 導入可能性調査

アンケート調査概要

令和 7 年 9 月 25 日

宮 城 県 岩 沼 市

目 次

はじめに：本調査の位置づけ	1
1 官民連携の導入に関する基本的な考え方	2
1.1 導入目的と期待する効果.....	2
1.2 導入及びアンケート調査のスケジュール	2
2 導入検討対象施設	3
2.1 対象施設の概要.....	3
2.2 管路.....	8
2.3 雨水ポンプ場、マンホールポンプ場.....	11
3 直近の業務実施状況	16
3.1 下水道施設等の維持管理状況.....	16
3.2 直近の委託状況.....	16
4 業務の定義	27
4.1 管路施設.....	27
4.2 ポンプ場等（雨水ポンプ場、マンホールポンプ）施設.....	29
5 参考資料	31
5.1 特定公共下水道事業.....	31
5.1.1 業務実績.....	31
5.1.2 経営状況.....	32
5.2 水道事業.....	34
5.2.1 業務実績.....	34
5.2.2 経営状況.....	40

はじめに：本調査の位置づけ

本参考資料は、ウォーターPPP等官民連携事業の導入可能性調査を実施する一環として実施する意見聴取を目的とした参考資料であり、官民連携の実施自体や実施方法に関して現時点で確定している事項はありません。また、今後の岩沼市におけるウォーターPPPの導入の可能性を含め、いかなる発注、計画等が行われることを保証するものではありません。本資料の内容につきましては、貴社のご判断に基づき、ご活用頂きますようお願いいたします。

岩沼市及びその職員は、貴社が、本調査（アンケートおよびインタビュー）について検討する過程において、本参考資料に記載された情報又はその他の書面若しくは口頭により貴社に対して伝達された情報の使用によって生じた結果に対していかなる責任を負うものではありません。本調査に際しては、貴社における資料等の精査及び検討の結果等を踏まえ、貴社ご自身の責任でご判断頂きますようお願いいたします。

1 官民連携の導入に関する基本的な考え方

岩沼市では令和 6 年度からウォーター PPP 等の官民連携手法の導入検討にあたり、課題整理、スキーム検討、効果分析等を通じて導入検討に向けた準備を実施しています。

本アンケートは民間事業者の参入意欲や官民連携における業務内容に対する意見や参画にあたっての課題を把握するために実施するものです。

1.1 導入目的と期待する効果

岩沼市では、公共下水道事業の持続可能性を維持・向上させることを目的とし、以下に示す効果を期待し、官民連携の導入を目指していきたいと考えています。

- ・ 維持管理業務の包括化、性能規定の導入により、民間事業者の創意工夫を積極的に取り入れ、事務・事業全体の効率化や高度化を実現
- ・ 契約期間の長期化により、官・民双方の契約事務の低減を図ると共に、長期的な視点に立った施設運営の実施
- ・ 維持管理と更新の一体的なマネジメントにより、施設の改築更新の最適化によるライフサイクルコストを低減

1.2 導入及びアンケート調査のスケジュール

官民連携導入に向けたスケジュールについては、当該調査での検討結果を踏まえ、具体的なスケジュールを公表していきます。現時点では、令和 8 年度末頃に事業者選定に係る公募の開始、令和 10 年度当初からの事業開始を想定しています。

また、本アンケート調査のスケジュールは以下の通りです。

- ・ アンケート調査表の開示：令和 7 年 9 月 25 日
- ・ アンケート調査回答期限：令和 7 年 10 月 24 日 17：00 〆
- ・ アンケート調査結果の公表：令和 7 年 11 月末頃を予定

2 導入検討対象施設

2.1 対象施設の概要

本市は流域関連公共下水道のため、汚水処理は宮城県県南浄化センターで行っています。本市の下水道全体計画における計画面積は「汚水：1,535.36 ha、雨水：1,269.00 ha」、下水道事業計画における計画面積（令和7年度見込み）は「汚水：1,337.64 ha、雨水：741.18.0 ha」となっています。

また、導入検討対象施設の概要を表 2-1 に示します。導入検討対象施設は、管路施設（汚水約 206km・雨水約 27km）、汚水マンホールポンプ場（39 箇所）、雨水ポンプ場（4 施設）となっています。汚水の計画範囲を図 2-1、雨水の計画範囲及び雨水ポンプ場の位置を図 2-2、汚水マンホールポンプ場の位置及び一覧表を図 2-3、図 2-4 に示します。

表 2-1 対象施設の概要

区分		数量等
管路	汚水	約 206km
	雨水	約 27km
雨水ポンプ場		4 箇所 (新拓排水ポンプ場、矢野目排水ポンプ場、二ノ倉排水ポンプ場、二ノ倉第二排水ポンプ場)
マンホールポンプ場		39 箇所 (竹の里中継ポンプ場、平等中継ポンプ場、松ヶ丘ポンプ場、梶橋ポンプ場、矢野目 1 号ポンプ場、矢野目 2 号ポンプ場、矢野目 3 号ポンプ場、矢野目 4 号ポンプ場、里の杜ポンプ場、桑原ポンプ場、本町ポンプ場、朝日 2 号ポンプ場、二野倉ポンプ場、阿武隈 1 号ポンプ場、西六角ポンプ場、林ポンプ場、阿武隈 2 号ポンプ場、吹上ポンプ場、矢野目 5 号ポンプ場、恵み野ポンプ場、中坪ポンプ場、相の原マンホールポンプ、矢野目西第一マンホールポンプ、志賀 1 号ポンプ場、志賀 2 号ポンプ場、志賀 3 号ポンプ場、志賀 4 号ポンプ場、志賀 5 号ポンプ場、志賀 6 号ポンプ場、小川 1 号ポンプ場、小川 2 号ポンプ場、小川 3 号ポンプ場、小川 4 号ポンプ場、小川 5 号ポンプ場、小川 6 号ポンプ場、長岡 1 号ポンプ場、長岡 2 号ポンプ場、長岡 3 号ポンプ場、長岡 4 号ポンプ場)

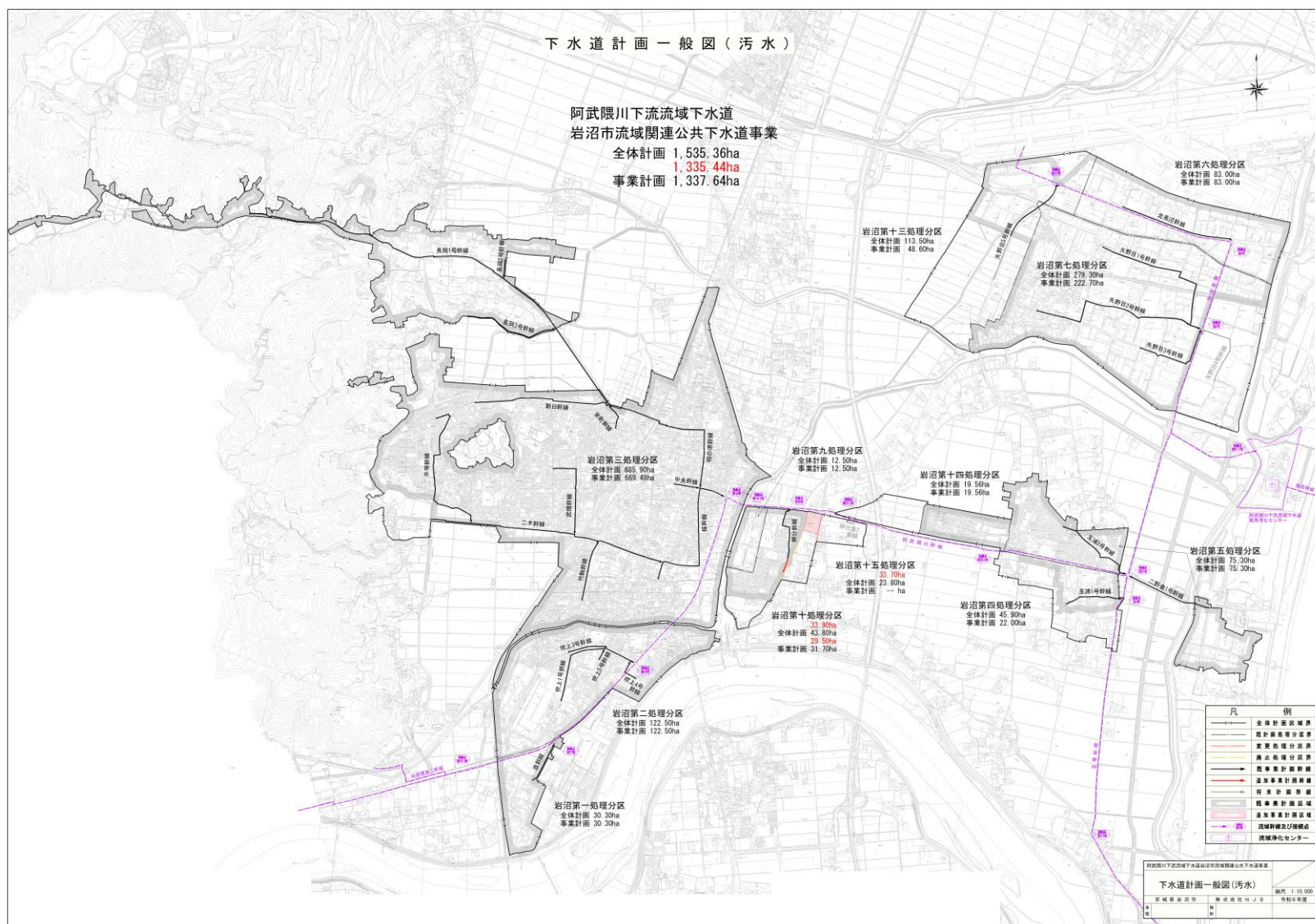


图 2-1 岩沼市下水道計画一般平面図（污水）

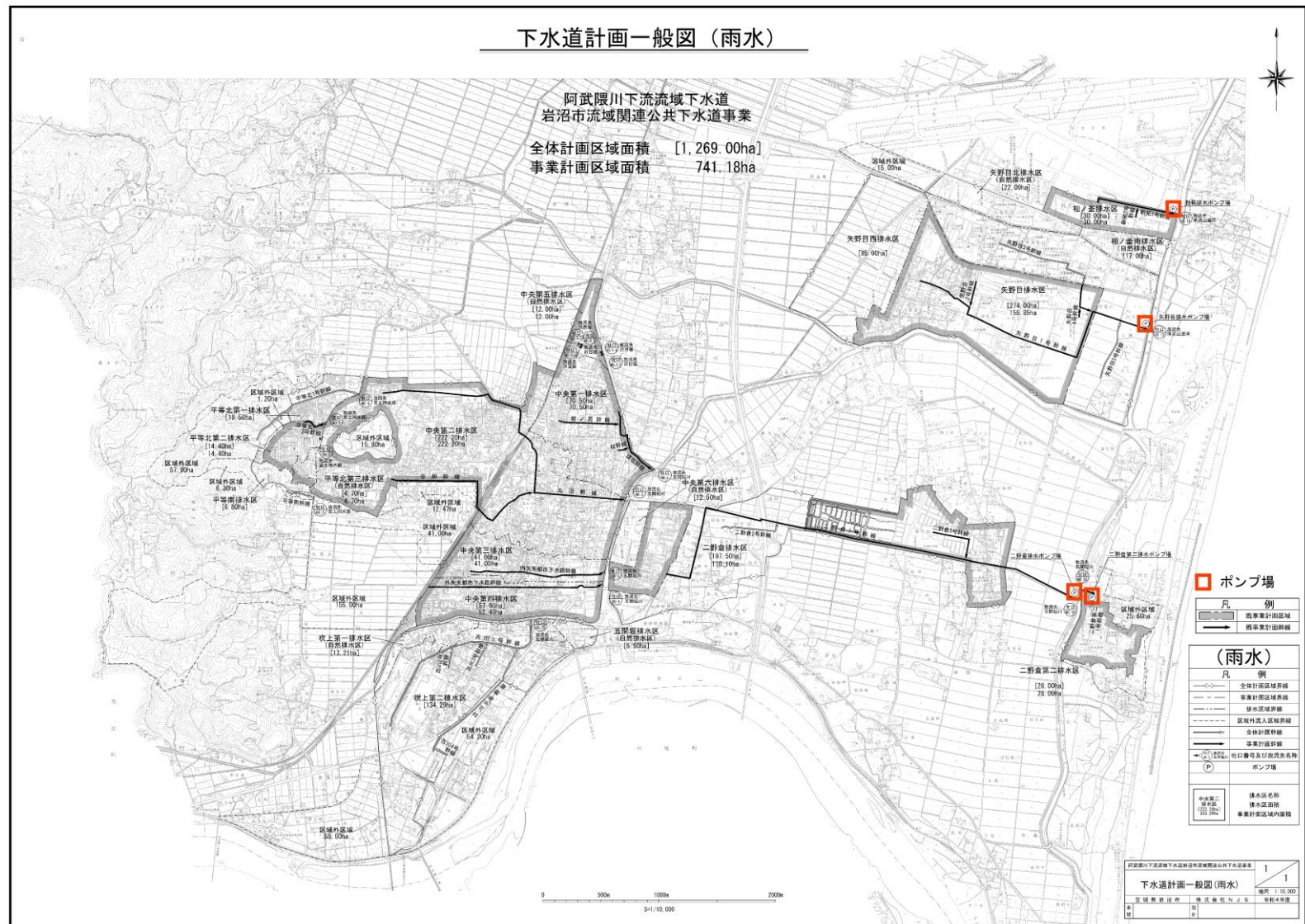
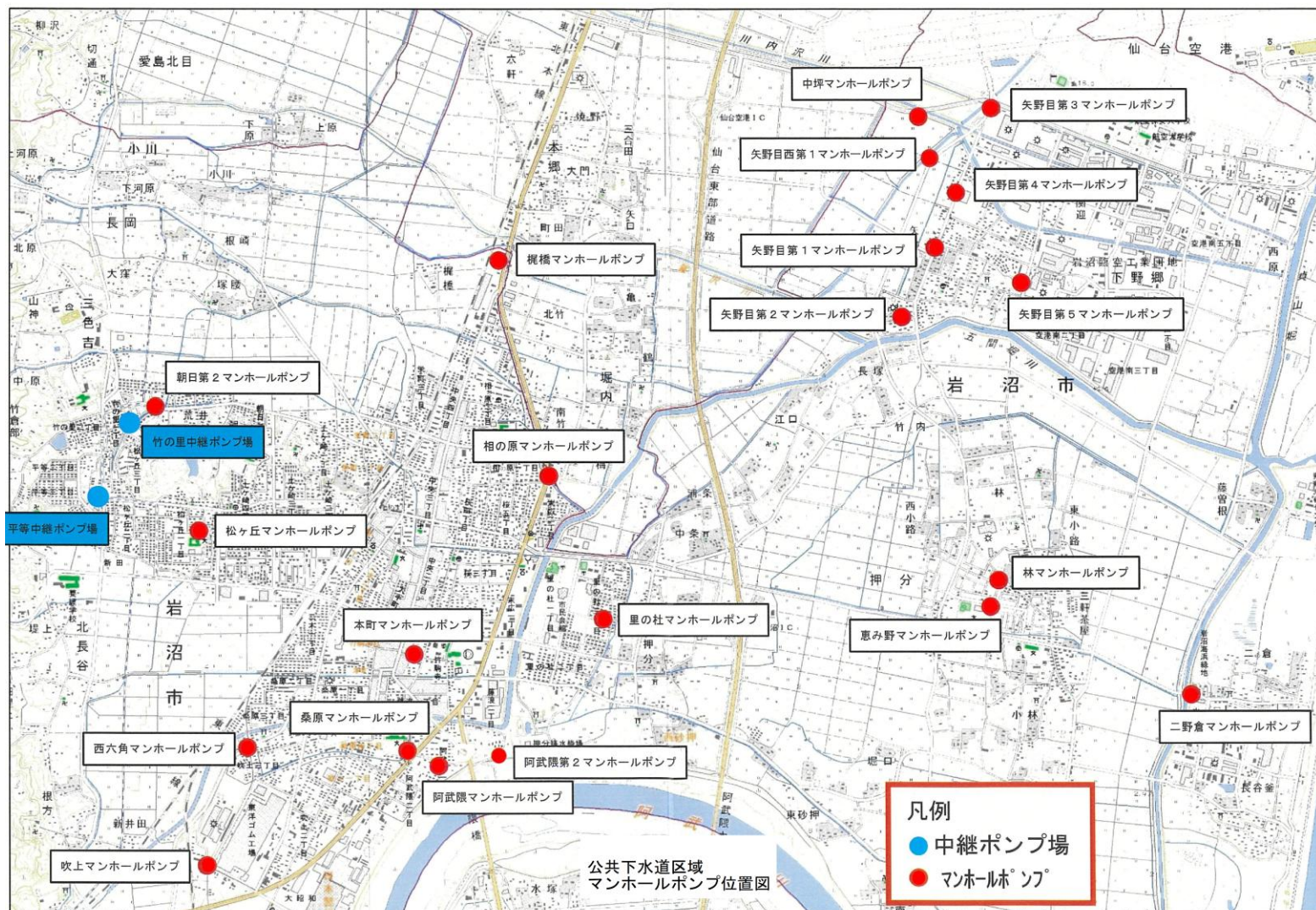
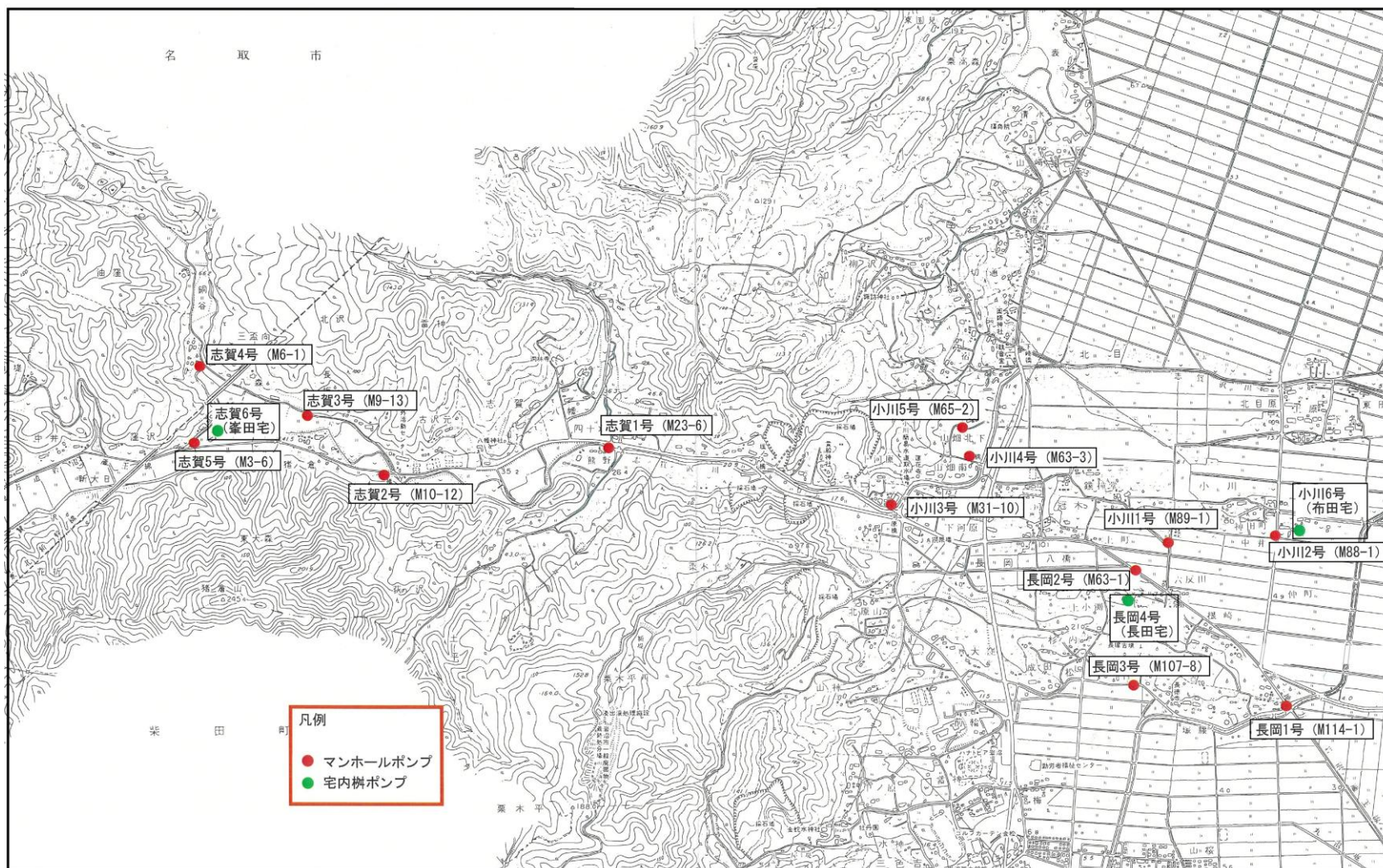


図 2-2 岩沼市下水道計画一般平面図（雨水）



出典：令和3年度 岩沼市公共下水道事業 ストックマネジメント計画策定業務委託

図 2-3 マンホール位置（公共下水道事業）



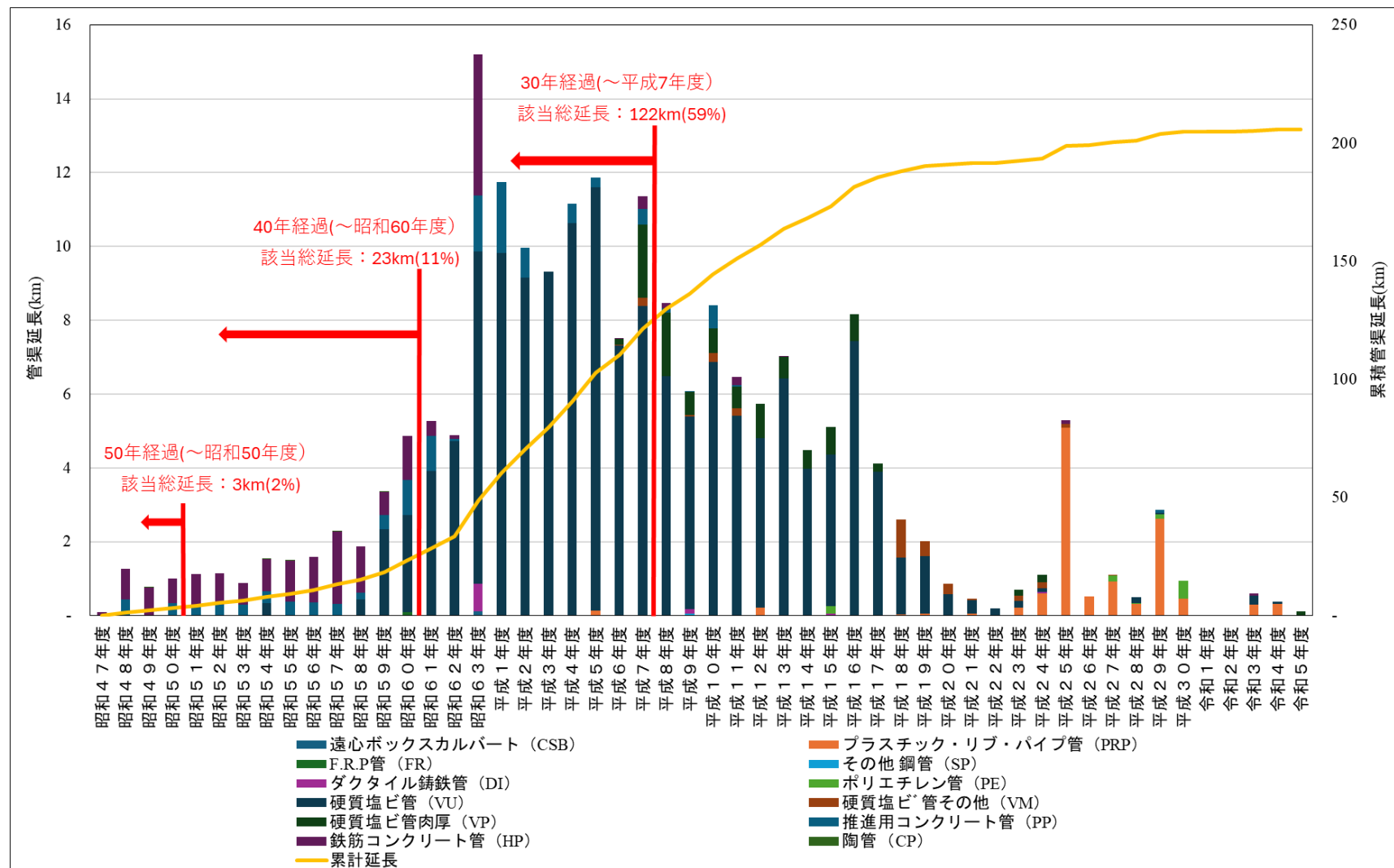
出典：令和3年度 岩沼市公共下水道事業 スtockマネジメント計画策定業務委託

図 2-4 マンホール位置 (旧：農業集落排水事業)

2.2 管路

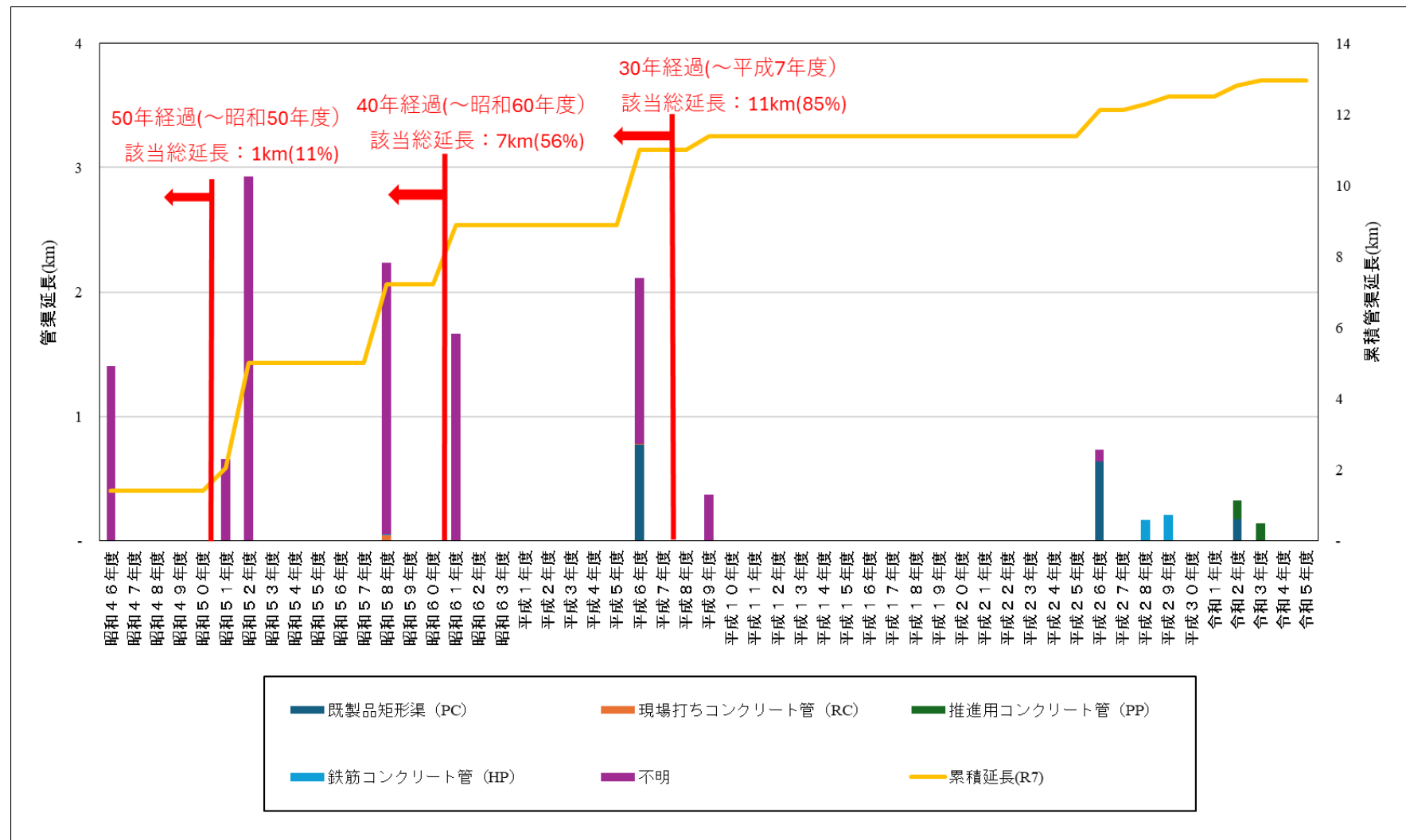
年度および管種別に見た污水管の延長を図 2-5 に、雨水管の延長を図 2-6 に示します。污水管については、大半が VU 管で構成されており、最も古い管渠は昭和 47 年（1972 年）に敷設されています。一方、雨水管の大半は管種が不明であり、最も古いものは昭和 46 年（1971 年）に敷設されています。

このため、昭和 46（1971）年から昭和 50（1975）年までの間に整備された管路はすでに標準耐用年数を超えており、污水管・雨水管ともに、本市のウォーター PPP 実施期間中に順次、改築・更新の時期を迎えることとなります。これを受けて、本市では下水道ストックマネジメント計画に基づき、点検調査を実施しており、今後判定結果に基づき改築・更新を進めていく予定です。



出典：岩沼市下水道管路台帳データ（污水）

図 2-5 汚水管路延長一覧（R6 時点）



出典：岩沼市下水道管路台帳データ（雨水）

図 2-6 雨水管路延長一覧（R6 時点）

2.3 雨水ポンプ場、マンホールポンプ場

雨水ポンプ場は、新拓排水ポンプ場、矢野目排水ポンプ場、二野倉排水ポンプ場、二野倉第二排水ポンプ場の4箇所が対象です。各ポンプ場の下水道事業上の位置づけを表2-2と表2-3に示します。新拓排水ポンプ場は平成19年供用開始のため、機械・電気設備を中心に改築の必要性が高まっています。矢野目排水ポンプ場、二野倉排水ポンプ場、二野倉第二排水ポンプ場については平成29年度供用開始のため、建築電気設備で一部標準耐用年数を超過している設備がありますが、不具合は生じておらず当面は改築の必要性はない状態です。

次に、マンホールポンプ場は39箇所が対象であり、諸元を表2-4に示します。最も供用開始が古い施設は竹の里中継ポンプ場であり、設置から37年経過しています。

最後に、雨水ポンプ場とマンホールポンプ場に関するストックマネジメント計画で策定されている修繕改築計画（令和3～9年度）を表2-5に示します。令和3～9年度までの改築事業費は194.1百万を予定しています。

表 2-2 ポンプ施設調書 (1)

ポ ン プ 施 設 調 書						
ポンプ施設の名称	処 理 分 区 の 名 称	ポンプ施設の位置	敷地面積 (単位: ヘクタール)	1分間の揚水量 (単位:立法メートル)		摘 要
				晴天時最大	雨天時最大	
新拓排水 ポンプ場	相ノ釜排水区	岩沼市下野郷字新拓	0.12	—	250.20	排水 ポンプ場
矢野目 排 水 ポンプ場	矢野目排水区	岩沼市下野郷字高 大瀬及び字汐入二	1.00	—	782.58	排水 ポンプ場
二野倉 排 水 ポンプ場	二野倉排水区	岩沼市押分字新大同	0.94	—	518.94	排水 ポンプ場
二野倉 第二排水 ポンプ場	二野倉第二 排水区	岩沼市押分字須加原	0.27	—	256.62	排水 ポンプ場
ポンプ施設の敷地内の主要な施設						
ポンプ施設の名称	主要な施設の名称	数	構 造	能 力	摘 要	
新 拓 排 水 ポ ン プ 場	流入管渠	1式	鉄筋コンクリート造り	$Q_f=5.100 \text{ m}^3/\text{秒}$		
	主ポンプ	2台	横軸形ポンプゲート式	$125.1 \text{ m}^3/\text{分}$	2/2	
	放流管渠	1式	鉄筋コンクリート造り			
	ポンプ棟	1棟	鉄筋コンクリート造り			
	受変電設備	1式		発電容量 約300KVA		
	自家発電設備	1台				
矢野目 排 水 ポンプ場	流入管渠	1式	鉄筋コンクリート造り	$Q_f=24.272 \text{ m}^3/\text{秒}$		
	沈砂池	4池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 約 $3,600 \text{ m}^3/\text{m}^2 \cdot \text{日}$		
	主ポンプ	3台	立軸斜流ポンプ $\phi 1,800\text{mm} \times 2$ 台 $\phi 900\text{mm} \times 1$ 台	$424 \text{ m}^3/\text{分}$ $109 \text{ m}^3/\text{分}$	3/4	
	放流管渠	1式	鉄筋コンクリート造り			
	ポンプ棟	1棟	鉄筋コンクリート造り			
	受変電設備	1式				
	自家発電設備	1台				

出典：岩沼市流域関連公共下水道事業 全体計画説明書

表 2-3 ポンプ施設調書 (2)

ポンプ施設の名称	主要な施設の名称	数	構 造	能 力	摘 要
二野倉排水ポンプ場	流入管渠	1式	鉄筋コンクリート造り	$Q_f=16.016\text{m}^3/\text{秒}$	
	沈砂池	4池	横軸形ポンプゲート式	水面積負荷 約 $3,600\text{ m}^3/\text{m}^2\cdot\text{日}$	
	主ポンプ	3台	立軸斜流ポンプ $\phi 1,500\text{mm}\times 2$ 台 $\phi 800\text{mm}\times 1$ 台	$284\text{ m}^3/\text{分}$ (既設) $84\text{ m}^3/\text{分}$	3/4
	放流管渠	1式	鉄筋コンクリート造り		
	ポンプ棟	1棟	鉄筋コンクリート造り		
	受変電設備	1式			
	自家発電設備	1台			
二野倉第二排水ポンプ場	流入管渠	1式	鉄筋コンクリート造り	$Q_f=4.453\text{ m}^3/\text{秒}$	
	沈砂池	3池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 約 $3,600\text{m}^3/\text{m}^2\cdot\text{日}$	
	主ポンプ	4台	立軸斜流ポンプ $\phi 1,000\text{mm}\times 2$ 台 水中ポンプ $\phi 250\text{mm}\times 2$ 台	$121\text{ m}^3/\text{分}$ $7.5\text{ m}^3/\text{分}$	4/4
	放流管渠	1式	鉄筋コンクリート造り		
	ポンプ棟	1棟	鉄筋コンクリート造り		
	受変電設備	1式			
	自家発電設備	1台			

出典：岩沼市流域関連公共下水道事業 全体計画説明書

表 2-4 マンホールポンプ場の諸元

No.	施設名称	設置 年度	揚水・圧送 の別	設置状況 幹・枝・個	稼働状況	取得価額 MP設備一式 (円)	ポンプ 台数	最大ポンプ 吐出水量 (m^3/min)	総吐出水量 (m^3/min)	予備機 台数	予備機 吐出水量 (m^3/min)
1	竹の里中継ポンプ場	1988	圧送	枝	高	67,031,800	2	0.72	1.44	1	0.72
2	平等中継ポンプ場	1989	圧送	枝	高	903,756	2	1.75	3.50	1	1.75
3	松ヶ丘ポンプ場	1990	揚水	枝		3,687,916	2	0.20	0.40	1	0.20
4	梶橋ポンプ場	1991	圧送	枝	高	5,609,951	2	0.63	1.26	1	0.63
5	矢野目1号ポンプ場	1992	揚水	枝		10,170,827	2	0.30	0.60	1	0.30
6	矢野目2号ポンプ場	1992	揚水	枝		7,932,171	2	0.30	0.60	1	0.30
7	矢野目3号ポンプ場	1993	圧送	幹線	極高	17,632,766	2	1.00	2.00	1	1.00
8	矢野目4号ポンプ場	1994	揚水	枝		7,981,630	2	0.30	0.60	1	0.30
9	里の杜ポンプ場	1995	圧送	幹線	極高	5,364,000	2	1.31	2.62	1	1.31
10	桑原ポンプ場	1996	圧送	枝	高	5,007,197	2	0.21	0.42	1	0.21
11	本町ポンプ場	1996	揚水	幹線	極高	3,516,345	2	0.15	0.30	1	0.15
12	朝日2号ポンプ場	1997	揚水	幹線	極高	5,696,202	2	0.96	1.92	1	0.96
13	二野倉ポンプ場	1998	圧送	幹線	極高	14,930,398	2	1.26	2.52	1	1.26
14	阿武隈1号ポンプ場	2000	揚水	枝		9,229,712	2	0.48	0.96	1	0.48
15	西六角ポンプ場	2000	揚水	枝		3,472,328	2	0.30	0.60	1	0.30
16	林ポンプ場	2003	揚水	幹線	極高	14,299,554	2	0.42	0.84	1	0.42
17	阿武隈2号ポンプ場	2004	圧送	枝	高	11,699,635	2	0.21	0.42	1	0.21
18	吹上ポンプ場	2005	揚水	幹線	極高	13,259,587	2	0.21	0.42	1	0.21
19	矢野目5号ポンプ場	2015	圧送	幹線	極高	6,414,467	2	0.16	0.32	1	0.16
20	恵み野ポンプ場	2016	圧送	枝	高	67,380,642	2	0.39	0.78	1	0.39
21	中坪ポンプ場	2016	圧送	枝	高	3,192,000	2	0.16	0.32	1	0.16
22	相の原マンホールポンプ	2017	圧送	枝	高	84,292,583	2	0.16	0.32	1	0.16
23	矢野目西第一マンホールポンプ	2018	圧送	幹線	極高	16,092,000	2	0.19	0.37	1	0.19
24	志賀1号ポンプ場	2004	圧送	幹線	極高	4,807,174	2	0.21	0.41	1	0.21
25	志賀2号ポンプ場	2004	圧送	幹線	極高	4,563,905	2	0.16	0.32	1	0.16
26	志賀3号ポンプ場	2004	圧送	枝	高	4,675,766	2	0.16	0.31	1	0.16
27	志賀4号ポンプ場(305)	2004	圧送	枝	高	4,563,912	2	0.67	1.33	1	0.67
28	志賀5号ポンプ場(302)	2004	圧送	枝	高	5,236,605	2	0.16	0.32	1	0.16
29	志賀6号ポンプ場(峯田宅)	2005	揚水	個人宅		2,858,893	2	0.07	0.14	1	0.07
30	小川1号ポンプ場(308)	2004	圧送	枝	高	4,563,912	2	0.21	0.42	1	0.21
31	小川2号ポンプ場(304)	2005	圧送	枝	高	4,292,271	2	0.21	0.42	1	0.21
32	小川3号ポンプ場(301)	2004	圧送	幹線	極高	6,074,714	2	0.21	0.42	1	0.21
33	小川4号ポンプ場(307)	2004	圧送	枝	高	4,563,912	2	0.21	0.42	1	0.21
34	小川5号ポンプ場(313)	2005	圧送	枝	高	4,439,223	2	0.21	0.42	1	0.21
35	小川6号ポンプ場(布田宅)	2005	揚水	個人宅		3,481,852	2	0.07	0.14	1	0.07
36	長岡1号ポンプ場(312)	2004	圧送	幹線	極高	4,807,176	2	0.67	1.33	1	0.67
37	長岡2号ポンプ場(311)	2004	圧送	幹線	極高	6,514,659	2	0.34	0.67	1	0.34
38	長岡3号ポンプ場(312)	2004	圧送	枝	高	4,563,912	2	0.18	0.37	1	0.18
39	長岡4号ポンプ場(長田宅)	2005	圧送	個人宅		3,481,852	2	0.07	0.14	1	0.07

表 2-5 雨水ポンプ場とマンホールポンプ場の修繕改築計画

【処理場・ポンプ場施設】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
処理場・ ポンプ場 の名称	合流・ 汚水・ 雨水の別	対象施設	布設 年度	供用 年数	施設能力	概算費用 (百万円)	備考
— 新拓排水ポンプ場	— 雨水	— スクリーン かす設備	— H18	— 18	— 水路 6000W× 2500H×目幅 80mm×75°× 3.7kW	— 46.1	—
— 竹の里中継ポンプ場 矢野目 1 号ポンプ場 矢野目 2 号ポンプ場 矢野目 3 号ポンプ場 朝日 2 号ポンプ場 桑原ポンプ場 矢野目 4 号ポンプ場 二野倉ポンプ場	— 汚水	— 汚水ポンプ 設備	— S63～ H10	— 26～ 36	— 0.15～ 1.26m³/min	— 92.8	—
— 新拓排水ポンプ場	— 雨水	— 制御電源及 び計装用電 源設備	— H19	— 17	— 2kVA/1.4kW	— 0.9	—
— 新拓排水ポンプ場	— 雨水	— 監視制御設 備	— H19～ H24	— 12～ 17	—	— 9.9	—
— 竹の里中継ポンプ場 矢野目 1 号ポンプ場 矢野目 2 号ポンプ場 矢野目 3 号ポンプ場 朝日 2 号ポンプ場 桑原ポンプ場	— 雨水	— 負荷設備	— S63～ H9	— 27～ 36	—	— 30.4	—
— 新拓排水ポンプ場	— 雨水	— 建具	— H18	— 18	—	— 12.0	—
— 新拓排水ポンプ場	— 雨水	— 電気設備	— H19	— 17	—	— 2.0	—
合計						— 194.1	

出典：R5 年度 岩沼市公共下水道事業ストックマネジメント改築実施計画策定委託業務

3 直近の業務実施状況

3.1 下水道施設等の維持管理状況

現行の委託内容を表 3-1 に示します。委託内容は、管渠及びマンホールポンプ場等の清掃や施設の管理業務です。また、休日緊急対応業務や市民からの異常通報も委託内で対応を行っており、市直営での業務はありません。

表 3-1 下水道施設等の維持管理状況

分類	現委託	備考
管渠（污水）	汚水管路等清掃業務	伏越箇所（管渠及びマンホール）、勾配等変状箇所（近々に改築等不可な箇所）
	管路点検調査業務	SM計画に基づく点検・調査（点検にて異常が見られた場合、翌年度に調査実施）
	休日緊急対応業務	休日の管渠清掃対応（待機料）※対応があった場合は別途支払い
管渠（雨水）	雨水幹線清掃業務	開水路幹線（5幹線）を6年で一巡
	雨水幹線除草業務	幹線用地の除草（年2回実施）
マンホールポンプ場	汚水中継ポンプ管理業務	公共下水道23箇所の点検、清掃（休日対応含む）
	長岡地区（農集排）運転管理業務	農集排16箇所の点検・清掃、公共下水道事業計画に位置付け済（R7末に公共下水道へ完全移行）（休日対応含む）
雨水ポンプ場	排水ポンプ場管理業務	4施設（二野倉・二野倉第二・矢野目・新拓）、施設点検、運転管理
	警備業務	3施設（二野倉・二野倉第二・矢野目）
その他	市民等からの異常通報	適宜、委託や修繕にて対応

3.2 直近の委託状況

令和2～6年度の工事、修繕業務、維持管理業務、その他業務の件数、金額の整理結果を表 3-2～表 3-9 に示します。下水道事業では単年で約 519,944 千円～733,650 千円ほどの発注をしています。

表 3-2 年度ごとの発注額

項目	分類	R3		R4		R5		R6		総額	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
工事	管渠	9	348,164,360	5	571,646,000	6	576,907,000	7	379,407,000	27	1,876,124,360
	マンホールポンプ場	1	13,300,000	0	0	0	0	0	0	1	13,300,000
	雨水ポンプ場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕	管渠	31	11,455,192	27	13,684,150	25	16,429,100	19	12,083,100	102	53,651,542
	マンホールポンプ場	3	563,000	4	541,000	11	2,039,500	6	379,000	24	3,522,500
	雨水ポンプ場	0	0	5	4,080,000	2	282,000	5	1,730,000	12	6,092,000
維持管理	管渠	45	52,042,000	55	87,744,648	51	65,717,000	36	58,371,000	187	263,874,648
	マンホールポンプ場	2	7,544,000	1	8,000,000	1	8,700,000	4	29,117,122	8	53,361,122
	雨水ポンプ場	10	23,062,517	12	24,451,680	14	29,915,500	12	24,749,500	48	102,179,197
	その他	13	63,813,021	8	23,502,400	4	2,346,000	13	37,274,517	38	126,935,938
	合計	114	519,944,090	117	733,649,878	114	702,336,100	102	543,111,239	447	2,499,041,307

※分類のその他は、計画業務や事務業務を示します。

※警備業務を除いた金額です。

a) 工事

マンホールポンプの業務は4年間で1件のため割愛いたします。雨水ポンプ場の業務は0件でした。

表 3-3 年度・金額別工事一覧（管渠）

	R3	R4	R5	R6	計	率
20万未満	0	0	0	0	0	0%
20～30万未満	0	0	0	0	0	0%
30～50万未満	1	0	0	0	1	4%
50～100万未満	0	0	0	1	1	4%
100～200万未満	0	0	0	0	0	0%
200～1000万未満	2	0	2	2	6	22%
1000万以上	6	5	4	4	19	70%
合計	9	5	6	7	27	100%

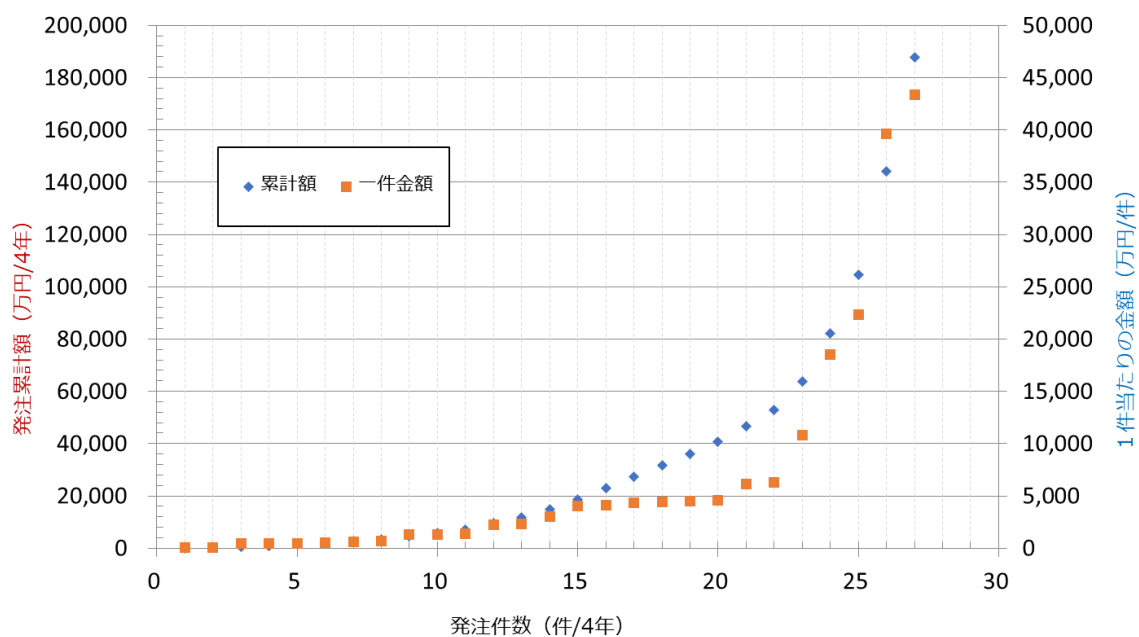


図 3-1 工事発注件数とその金額（管渠）

b) 修繕業務

表 3-4 年度・金額別修繕業務一覧（管渠）

	R3	R4	R5	R6	計	率
20万未満	15	7	6	3	31	30%
20～30万未満	3	5	1	2	11	11%
30～50万未満	5	3	2	3	13	13%
50～100万未満	6	10	8	7	31	30%
100～200万未満	2	2	8	3	15	15%
200～1000万未満	0	0	0	1	1	1%
1000万以上	0	0	0	0	0	0%
合計	31	27	25	19	102	100%

表 3-5 年度・金額別修繕業務一覧（マンホールポンプ）

	R3	R4	R5	R6	計	率
20万未満	2	3	7	6	18	75%
20～30万未満	0	0	2	0	2	8%
30～50万未満	1	1	1	0	3	13%
50～100万未満	0	0	1	0	1	4%
100～200万未満	0	0	0	0	0	0%
200～1000万未満	0	0	0	0	0	0%
1000万以上	0	0	0	0	0	0%
合計	3	4	11	6	24	100%

表 3-6 年度・金額別修繕業務一覧（雨水ポンプ場）

	R3	R4	R5	R6	計	率
20万未満	0	0	1	3	4	33%
20～30万未満	0	0	1	0	1	8%
30～50万未満	0	1	0	1	2	17%
50～100万未満	0	3	0	0	3	25%
100～200万未満	0	1	0	1	2	17%
200～1000万未満	0	0	0	0	0	0%
1000万以上	0	0	0	0	0	0%
合計	0	5	2	5	12	100%

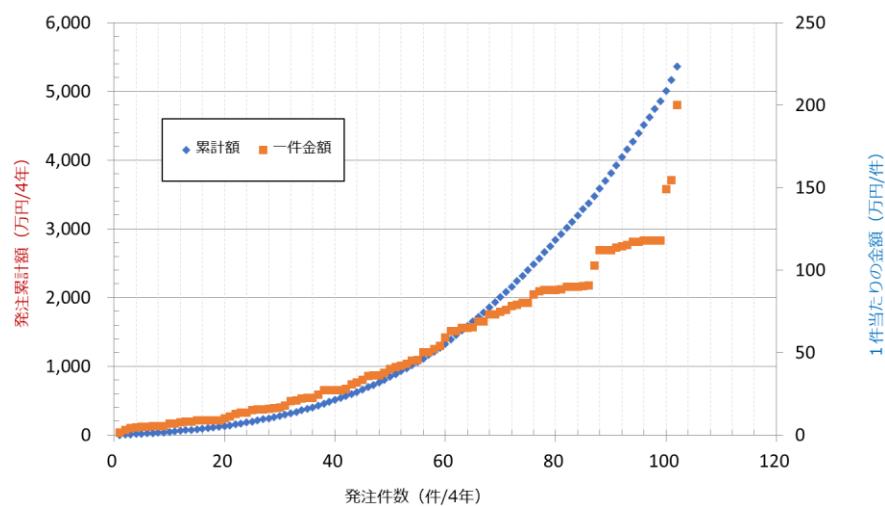


図 3-2 修繕業務発注件数とその金額（管渠）

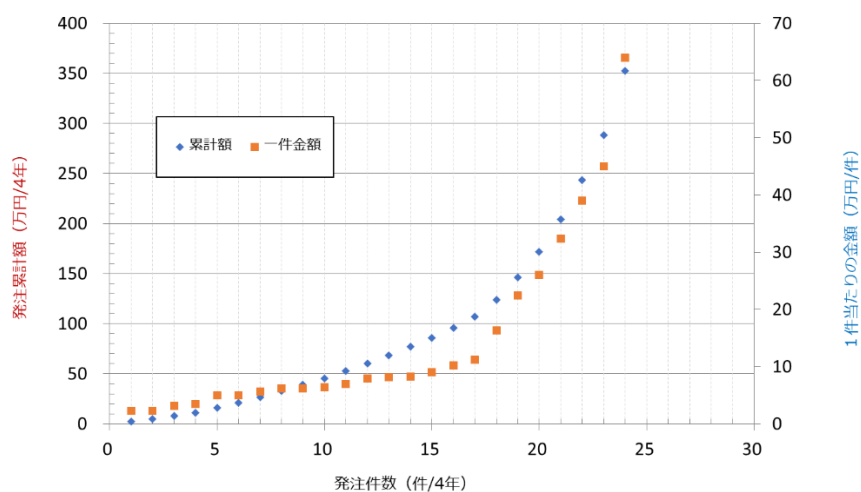


図 3-3 修繕業務発注件数とその金額（マンホールポンプ）

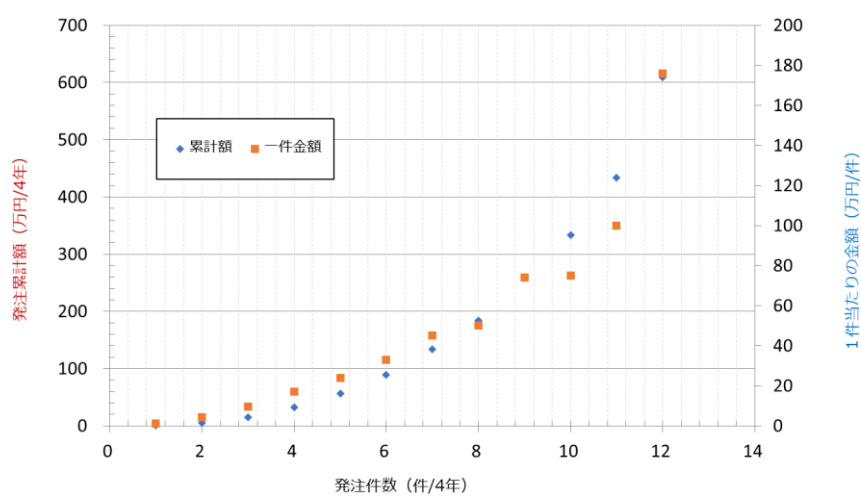


図 3-4 修繕業務発注件数とその金額（雨水ポンプ場）

c) 維持管理業務

表 3-7 年度・金額別維持管理業務一覧（管渠）

	R3	R4	R5	R6	計	率
20万未満	16	26	29	17	88	47%
20～30万未満	5	4	7	8	24	13%
30～50万未満	17	19	8	3	47	25%
50～100万未満	1	0	0	0	1	1%
100～200万未満	1	1	1	0	3	2%
200～1000万未満	4	3	4	6	17	9%
1000万以上	1	2	2	2	7	4%
合計	45	55	51	36	187	100%

表 3-8 年度・金額別維持管理業務一覧（マンホールポンプ）

	R3	R4	R5	R6	計	率
20万未満	0	0	0	0	0	0%
20～30万未満	0	0	0	1	1	13%
30～50万未満	1	0	0	0	1	13%
50～100万未満	0	0	0	0	0	0%
100～200万未満	0	0	0	0	0	0%
200～1000万未満	1	1	1	2	5	63%
1000万以上	0	0	0	1	1	13%
合計	2	1	1	4	8	100%

表 3-9 年度・金額別維持管理業務一覧（雨水ポンプ場）

	R3	R4	R5	R6	計	率
20万未満	3	3	2	3	11	23%
20～30万未満	0	0	1	1	2	4%
30～50万未満	4	6	8	6	24	50%
50～100万未満	0	1	1	1	3	6%
100～200万未満	2	1	0	0	3	6%
200～1000万未満	0	0	1	0	1	2%
1000万以上	1	1	1	1	4	8%
合計	10	12	14	12	48	100%

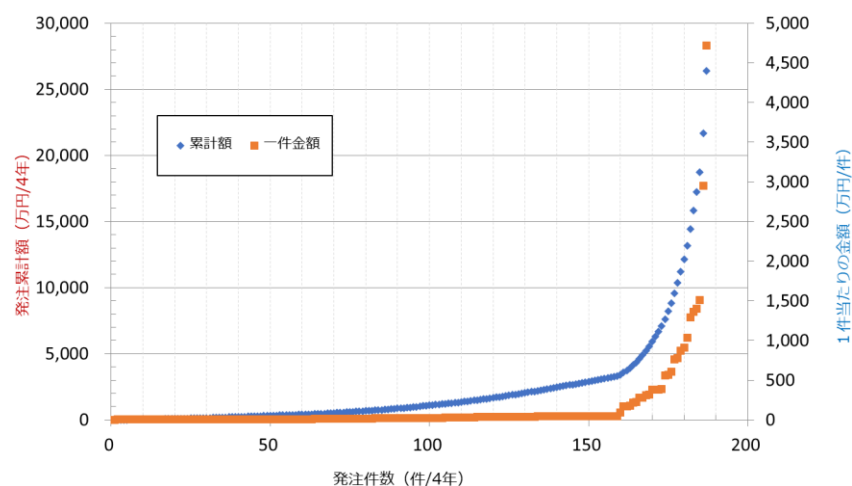


図 3-5 維持管理業務発注件数とその金額（管渠）

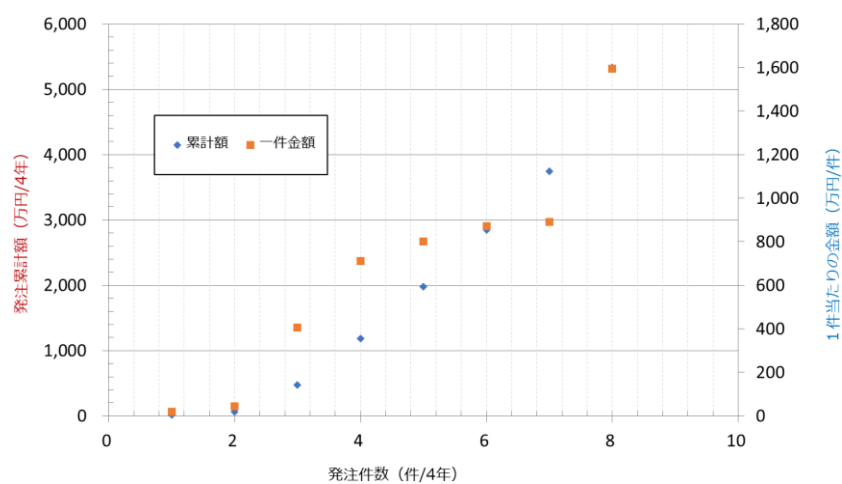


図 3-6 維持管理業務発注件数とその金額（マンホールポンプ）

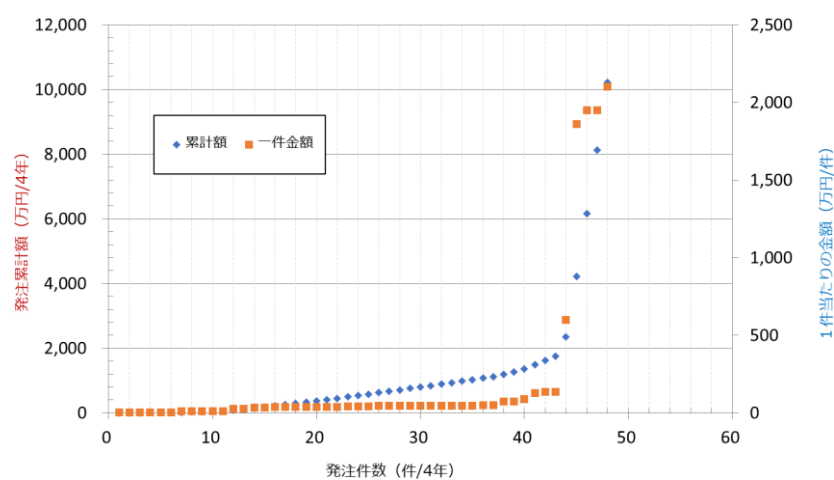


図 3-7 維持管理業務発注件数とその金額（雨水ポンプ場）

d) その他

表 3-10 年度・金額別その他業務一覧

	R3	R4	R5	R6	計	率
20万未満	5	2	0	3	10	26%
20～30万未満	1	0	1	1	3	8%
30～50万未満	2	1	1	3	7	18%
50～100万未満	2	2	2	0	6	16%
100～200万未満	0	0	0	2	2	5%
200～1000万未満	1	3	0	2	6	16%
1000万以上	2	0	0	2	4	11%
合計	13	8	4	13	38	100%

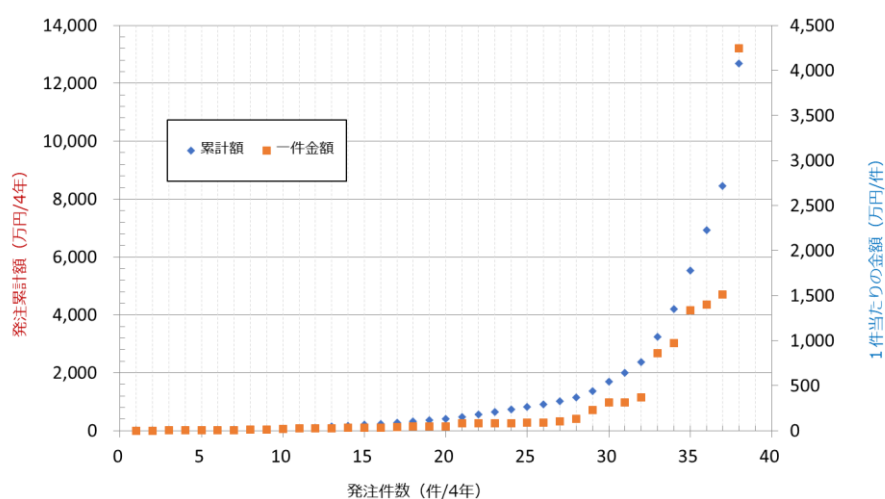


図 3-8 その他業務発注件数とその金額

e) 投資計画

① 管路の点検調査計画

ストックマネジメント計画において、管路の点検調査計画を策定しています。本計画では、今後7箇年の概算事業費（点検・調査費）を表 3-11 と表 3-12 の通り設定しています。概算事業費は污水管路施設で 131,357 千円、雨水管路施設で 30,446 千円となっています。

② 改築実施計画（再掲）

ストックマネジメント計画において、管路施設及びポンプ場施設等の改築実施計画を策定しています。本計画では、令和3～9年度までの改築計画を策定しており、管路施設では 1,992 百万、雨水ポンプ場とマンホールポンプ場では 194.1 百万の費用が見込まれています。改築概要を表 3-13 に示します。

表 3-11 点検・調査費（汚水）

年度	区分	点検工										視覚調査工											合計		
		3.00m以下 管口テレビカメラ点検工(管渠)			3.01m以上 点検工(管渠)			3.01m以上+3.00m以下 合計				マンホール目視調査工		本管テレビカメラ調査工 (φ800未満の管渠)		管内潜行目視調査工 (φ800以上～ φ1000未満)		管内潜行目視調査工 (φ1000以上～ φ1500未満)		管内調査 小計 (円)	視覚調査工 延長 (m)	視覚調査工 小計 (円)			
		①点検工合計単価：12,502円/基			②点検工合計単価：10,628円/基			③＝①+②				単価：10,628円/箇所		単価：2,562円/m		単価：1,826円/m		単価：1,670円/m							
		基数 (基)	延長 (m)	点検費 (円)	基数 (基)	延長 (m)	点検費 (円)	基数 (基)	延長 (m)	点検費 (円)	箇所数	調査費	延長	調査費	延長	調査費	延長	調査費	延長				調査費		
2022年 令和4年	最重要施設	51	1,473.39	787,626	25	964.47	265,700	76	2,437.86	1,053,326	—	—	—	—	—	—	—	0	0.00	0	76	2,437.86	1,053,326		
	重要施設 (HP)	60	1,939.47	750,120	143	7,713.13	1,519,804	203	9,652.60	2,269,924	—	—	—	—	—	—	—	0	0.00	0	203	9,652.60	2,269,924		
	重要施設 (その他)	326	10,624.69	4,075,652	155	5,743.34	1,647,340	481	16,368.03	5,722,992	—	—	—	—	—	—	—	0	0.00	0	481	16,368.03	5,722,992		
	一般施設 (20年以上) (HP)	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	—	—	—	—	—	—	—	0	0.00	0	0	0.00	0		
	一般施設 (20年以上) (その他)	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	—	—	—	—	—	—	—	0	0.00	0	0	0.00	0		
	一般施設 (その他)	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	—	—	—	—	—	—	—	0	0.00	0	0	0.00	0		
	計	437	14,037.55	5,613,398	323	14,420.94	3,432,844	760	28,458.49	9,046,242	—	—	—	—	—	—	—	0	0.00	0	760	28,458.49	9,046,242		
2023年 令和5年	最重要施設	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	11	116,908	314.00	804,468	3.00	5,478	0.00	0	809,946	317.00	926,854	11	317.00	926,854	
	重要施設 (HP)	0	0.00	0	38	2,438.53	403,864	38	2,438.53	403,864	26	276,328	450.00	1,152,900	400.00	730,400	0.00	0	1,883,300	850.00	2,159,628	64	3,288.53	2,563,492	
	重要施設 (その他)	48	1,759.05	600,096	35	1,018.97	371,980	83	2,778.02	972,076	63	669,564	476.00	1,219,512	0.00	0	0.00	0	1,219,512	476.00	1,889,076	146	3,254.02	2,861,152	
	一般施設 (20年以上) (HP)	148	5,108.38	1,850,296	11	326.52	116,908	159	5,434.90	1,967,204	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	159	5,434.90	1,967,204	
	一般施設 (20年以上) (その他)	84	2,440.90	1,050,168	3	8.38	31,884	87	2,449.28	1,082,052	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	87	2,449.28	1,082,052	
	一般施設 (その他)	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	
	計	280	9,308.33	3,500,560	87	3,792.40	924,636	367	13,100.73	4,425,196	100	1,062,800	1,240.00	3,176,880	403.00	735,878	0.00	0	3,912,758	1,643.00	4,975,558	467	14,743.73	9,400,754	
2024年 令和6年	最重要施設	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	
	重要施設 (HP)	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	5	53,140	714.00	1,829,268	9.00	16,434	0.00	0	1,845,702	723.00	1,898,842	5	723.00	1,898,842	
	重要施設 (その他)	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	11	116,908	2,012.00	5,154,744	0.00	0	0.00	0	5,154,744	2,012.00	5,271,652	11	2,012.00	5,271,652	
	一般施設 (20年以上) (HP)	160	5,660.44	2,000,320	19	773.65	201,932	179	6,434.09	2,202,252	21	223,188	707.00	1,811,334	0.00	0	0.00	0	1,811,334	707.00	2,034,522	200	7,141.09	4,236,774	
	一般施設 (20年以上) (その他)	386	11,760.29	4,825,772	11	284.21	116,908	397	12,044.50	4,942,680	11	116,908	318.00	814,716	0.00	0	0.00	0	814,716	318.00	931,624	408	12,362.50	5,874,304	
	一般施設 (その他)	189	6,153.11	2,362,878	10	372.90	106,280	199	6,526.01	2,469,158	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	199	6,526.01	2,469,158	
	計	735	23,573.84	9,188,970	40	1,430.76	425,120	775	25,004.60	9,614,090	48	510,144	3,751.00	9,610,062	9.00	16,434	0.00	0	9,626,496	3,760.00	10,136,640	823	28,764.60	19,750,730	
2025年 令和7年	最重要施設	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	
	重要施設 (HP)	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	
	重要施設 (その他)	79	2,586.64	987,658	37	1,411.86	393,236	116	3,998.50	1,380,894	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	116	3,998.50	1,380,894	
	一般施設 (20年以上) (HP)	46	1,360.75	575,092	14	511.11	148,792	60	1,871.86	723,884	23	244,444	836.00	2,141,832	0.00	0	0.00	0	2,141,832	836.00	2,386,276	83	2,707.86	3,110,160	
	一般施設 (20年以上) (その他)	750	22,034.78	9,376,500	17	505.80	180,676	767	22,540.58	9,557,176	52	552,656	1,565.00	4,009,530	0.00	0	0.00	0	4,009,530	1,565.00	4,562,186	819	24,105.58	14,119,382	
	一般施設 (その他)	151	3,884.56	1,887,802	7	201.06	74,396	158	4,085.62	1,962,198	26	276,328	848.00	2,172,576	0.00	0	0.00	0	2,172,576	848.00	2,448,904	184	4,933.62	4,411,102	
	計	1,026	29,866.73	12,827,052	75	2,629.83	797,100	1,101	32,496.56	13,624,152	101	1,073,428	3,249.00	8,323,938	0.00	0	0.00	0	8,323,938	3,249.00	9,397,366	1,202	35,745.56	23,021,518	
2026年 令和8年	最重要施設	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	
	重要施設 (HP)	3	164.81	37,506	21	937.95	223,188	24	1,102.76	260,694	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	24	1,102.76	260,694	
	重要施設 (その他)	20	643.90	250,040	40	1,341.27	425,120	60	1,985.17	675,160	15	159,420	520.00	1,332,240	0.00	0	0.00	0	1,332,240	520.00	1,491,660	75	2,505.17	2,166,820	
	一般施設 (20年以上) (HP)	15	615.20	187,530	1	7.70	10,628	16	622.90	198,158	8	85,024	243.00	622,566	0.00	0	0.00	0	622,566	243.00	707,590	24	865.90	905,748	
	一般施設 (20年以上) (その他)	676	21,276.21	8,451,352	54	1,658.61	573,912	730	22,934.82	9,025,264	99	1,052,172	2,929.00	7,504,098	0.00	0	0.00	0	7,504,098	2,929.00	8,556,270	829	25,863.82	17,581,534	
	一般施設 (その他)	130	3,849.03	1,625,260	15	346.45	159,420	145	4,195.48	1,784,680	21	223,188	531.00	1,360,422	0.00	0	0.00	0	1,360,422	531.00	1,583,610	166	4,726.48	3,368,290	
	計	844	26,549.15	10,551,688	131	4,291.98	1,392,268	975	30,841.13	11,943,956	143	1,519,804	4,223.00	10,819,326	0.00	0	0.00	0	10,819,326	4,223.00	12,339,130	1,118	35,064.13	24,283,086	
2027年 令和9年	最重要施設	51	1,473.39	787,626	25	964.47	265,700	76	2,437.86	1,053,326	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	76	2,437.86	1,053,326	
	重要施設 (HP)	0	0.00	0	14	744.71	148,792	14	744.71	148,792	3	31,884	143.00	366,366	0.00	0	0.00	0	366,366	143.00	398,250	17	887.71	547,042	
	重要施設 (その他)	42	1,325.04	525,084	72	2,727.81	765,216	114	4,052.85	1,290,300	8	85,024	258.00	660,996	0.00	0	0.00	0	660,996	258.00	746,020	122	4,310.85	2,036,320	
	一般施設 (20年以上) (HP)	0	0.00	0	1	66.66	10,628	1	66.66	10,628	2	21,256	81.00	207,522	0.00	0	0.00	0	207,522	81.00	228,778	3	147.66	239,406	
	一般施設 (20年以上) (その他)	608	19,949.11	7,601,216	46	1,594.24	488,888	654	21,543.35	8,090,104	95	1,009,660	2,982.00	7,639,884	0.00	0	0.00	0	7,639,884	2,982.00	8,649,544	749	24,525.35	16,739,648	
	一般施設 (その他)	83	2,145.68	1,037,666	7	167.06	74,396	90	2,312.74	1,112,062	19	201,932	545.00	1,396,290	0.00	0	0.00	0	1,396,290	545.00	1,598,222	109			

表 3-12 点検・調査費（雨水）

年度	区分	点検工									視覚調査工														合 計				
		3.00m以下 管口テレビカメラ点検工（管渠）			3.01m以上 点検工（管渠）			3.01m以上+3.00m以下 合計			マンホール目視調査工		管内調査																
		①点検工合計単価： 12,502円/基			②点検工合計単価： 10,628円/基			③＝①+②					単価： 10,628円/箇所		単価： 2,562円/m		単価： 1,826円/m		単価： 1,670円/m		単価： 1,566円/m		管内調査 小計 （円）	視覚調査工 延長 （m）				視覚調査工 小計 （円）	
		基数 （基）	延長 （m）	点検費 （円）	基数 （基）	延長 （m）	点検費 （円）	基数 （基）	延長 （m）	点検費 （円）	箇所数	調査費	延長	調査費	延長	調査費	延長	調査費	延長	調査費									
2027年 令和9年	最重要施設	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	－	－	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0
	重要施設	1	8.00	12,502	0	0.00	0	1	8.00	12,502	5	53,140	－	－	19.05	34,785	68.50	114,395	4,278.40	6,699.967	6,849,147	4,365.95	6,902,287	6	4,373.95	6,914,789			
	一般施設 （20年以上）	9	994.60	112,518	0	0.00	0	9	994.60	112,518	9	95,652	－	－	367.52	671,092	1,079.67	1,803,049	0.00	0	2,474,140	1,447.19	2,569,792	18	2,441.79	2,682,310			
	一般施設 （その他）	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	－	－	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0			
	計	10	1,002.60	125,020	0	0.00	0	10	1,002.60	125,020	14	148,792	－	－	386.57	705,877	1,148.17	1,917,444	4,278.40	6,699.967	9,323,287	5,813.14	9,472,079	24	6,815.74	9,597,099			
2028年 令和10年	最重要施設	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0
	重要施設	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	1.00	2,562	0.00	0	0.00	0	1,207.80	1,891,412	1,893,974	1,208.80	1,893,974	0	1,208.80	1,893,974			
	一般施設 （20年以上）	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	1	10,628	129.00	330,498	0.00	0	0.00	0	200.00	313,200	643,698	329.00	654,326	1	329.00	654,326			
	一般施設 （その他）	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0			
	計	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	1	10,628	130.00	333,060	0.00	0	0.00	0	1,407.80	2,204,612	2,537,672	1,537.80	2,548,300	1	1,537.80	2,548,300			
2029年 令和11年	最重要施設	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0
	重要施設	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	1,525.50	2,388,933	2,388,933	1,525.50	2,388,933	0	1,525.50	2,388,933			
	一般施設 （20年以上）	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0			
	一般施設 （その他）	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0			
	計	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	1,525.50	2,388,933	2,388,933	1,525.50	2,388,933	0	1,525.50	2,388,933			
2030年 令和12年	最重要施設	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0
	重要施設	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	9	95,652	0.00	0	38.08	69,534	11.60	19,372	1,355.60	2,122,870	2,211,776	1,405.28	2,307,428	9	1,405.28	2,307,428			
	一般施設 （20年以上）	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	5	53,140	0.00	0	148.88	271,855	773.89	1,292,396	165.82	259,674	1,823,925	1,088.59	1,877,065	5	1,088.59	1,877,065			
	一般施設 （その他）	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0			
	計	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	14	148,792	0.00	0	186.96	341,389	785.49	1,311,768	1,521.42	2,382,544	4,035,701	2,493.87	4,184,493	14	2,493.87	4,184,493			
2031年 令和13年	最重要施設	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0
	重要施設	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	6	63,768	0.00	0	0.00	0	347.09	579,640	499.78	782,655	1,362,296	846.87	1,426,064	6	846.87	1,426,064			
	一般施設 （20年以上）	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0			
	一般施設 （その他）	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0			
	計	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	6	63,768	0.00	0	0.00	0	347.09	579,640	499.78	782,655	1,362,296	846.87	1,426,064	6	846.87	1,426,064			
2032年 令和14年	最重要施設	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0
	重要施設	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	16	170,048	0.00	0	0.00	0	123.25	205,828	5,523.60	8,649,958	8,855,785	5,646.85	9,025,833	16	5,646.85	9,025,833			
	一般施設 （20年以上）	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0			
	一般施設 （その他）	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0			
	計	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	16	170,048	0.00	0	0.00	0	123.25	205,828	5,523.60	8,649,958	8,855,785	5,646.85	9,025,833	16	5,646.85	9,025,833			
2033年 令和15年	最重要施設	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0
	重要施設	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0
	一般施設 （20年以上）	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0
	一般施設 （その他）	2	195.49	25,004	0	0.00	0	2	195.49	25,004	7	74,396	0.00	0	177.05	323,293	145.50	242,985	389.59	610,098	1,176,376	712.14	1,250,772	9	907.63	1,275,776			
	計	2	195.49	25,004	0	0.00	0	2	195.49	25,004	7	74,396	0.00	0	177.05	323,293	145.50	242,985	389.59	610,098	1,176,376	712.14	1,250,772	9	907.63	1,275,776			
合計	最重要施設	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0
	重要施設	1	8.00	12,502	0	0.00	0	1	8.00	12,502	36	382,608	1.00	2,562	57.13	104,319	550.44	919,235	14,390.67	22,535,794	23,561,910	14,999.24	23,944,518	37	15,007.24	23,957,020			
	一般施設 （20年以上）	9	994.60	112,518	0	0.00	0	9	994.60	112,518	15	159,420	129.00	330,498	516.40	942,946	1,853.56	3,095,445	365.82	572,874	4,941,764	2,864.78	5,101,184	24	3,859.38	5,213,702			
	一般施設 （その他）	2	195.49	25,004	0	0.00	0	2	195.49	25,004	7	74,396	0.00	0	177.05	323,293	145.50	242,985	389.59	610,098	1,176,376	712.14	1,250,772	9	907.63	1,275,776			
	計	12	1,198.09	150,024	0	0.00	0	12	1,198.09	150,024	58	616,424	130.00	333,060	750.58	1,370,559	2,549.50	4,257,665	15,146.08	23,718,766	29,680,050	18,576.16	30,296,474	70	19,774.25	30,446,498			

出典：岩沼市公共下水道事業ストックマネジメント計画（令和３年度）

表 3-13 改築計画（再掲）

【管路施設】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
処理区・排水区の名称	合流・汚水・雨水の別	対象施設	布設年度	供用年数	対象延長(m)	概算費用(百万円)	備考
吹上東排水区	処理水	管渠	S43	56	2,188m	1,291	①腐食
吹上東排水区	処理水	マンホール	S43	56	(7 箇所)	119	⑥耐震化
岩沼処理区	汚水	マンホール蓋	S47～H29	52～7	(1,353 箇所)	582	①腐食
合計						1,992	

【処理場・ポンプ場施設】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
処理場・ポンプ場の名称	合流・汚水・雨水の別	対象施設	布設年度	供用年数	施設能力	概算費用(百万円)	備考
新拓排水ポンプ場	雨水	スクリーン かす設備	H18	18	水路 6000W× 2500H×目幅 80mm×75°× 3.7kW	46.1	—
竹の里中継ポンプ場 矢野目 1 号ポンプ場 矢野目 2 号ポンプ場 矢野目 3 号ポンプ場 朝日 2 号ポンプ場 桑原ポンプ場 矢野目 4 号ポンプ場 二野倉ポンプ場	汚水	汚水ポンプ 設備	S63～ H10	26～ 36	0.15～ 1.26m³/min	92.8	—
新拓排水ポンプ場	雨水	制御電源及 び計装用電 源設備	H19	17	2kVA/1.4kW	0.9	—
新拓排水ポンプ場	雨水	監視制御設 備	H19～ H24	12～ 17	—	9.9	—
竹の里中継ポンプ場 矢野目 1 号ポンプ場 矢野目 2 号ポンプ場 矢野目 3 号ポンプ場 朝日 2 号ポンプ場 桑原ポンプ場	雨水	負荷設備	S63～ H9	27～ 36	—	30.4	—
新拓排水ポンプ場	雨水	建具	H18	18	—	12.0	—
新拓排水ポンプ場	雨水	電気設備	H19	17	—	2.0	—
合計						194.1	

出典：岩沼市公共下水道事業ストックマネジメント計画（R6.7）

4 業務の定義

各業務の定義を以下に示します。

4.1 管路施設

表 4-1 業務の定義（管路）

維持管理 レベル	業務区分		定義
—	統括管理業務		各業務間の技術的視点での一元的な統括管理を行い、技術的業務を効率的かつ効果的に遂行する。
日常的業務	住民対応業務	住民窓口（給排水窓口業務も含む※1）	住民等からの問い合わせに対応する業務 管路施設に起因する道路陥没、悪臭、漏水等の苦情要望受付
		住民等通報後の現場確認及び対応判断	住民等からの問い合わせに対して現場確認及び対応判断を行う業務
		緊急清掃	清掃を住民苦情等により緊急的に行う業務
		緊急修繕	修繕を住民苦情等により緊急的に行う業務
		他工事立会等	他工事事業者等からの立ち合い要請への対応
計画的業務	決 問 業 題 務 解	不明水対策	特定の問題解決を目的に一定期間をかけ計画的に行う業務。 流量調査の実施、対策計画の策定など。
		悪臭対策	
	計 画 的 業 務	流域接続点水質調査	流域接続点における定期的な水質調査業務
		点検調査業務	点検：マンホール内部からの目視や、地上からマンホール内に管口テレビカメラを挿入する方法等により、異状の有無を確認する。 調査：管内に潜行する調査員による目視、または、下水道管渠用テレビカメラを挿入する方法等により、詳細な劣化状況や動向等を定量的に確認するとともに、原因を検討する。
		定期清掃業務	清掃：施設内の堆積物を除去し、下水道管路施設の計画された流下能力を確保する業務。 清掃業務に伴う廃棄物の運搬・処分を含む
		計画修繕業務	修繕：老朽化した施設又は故障若しくは毀損した施設を修理して、下水道の機能を維持すること。
災害対応業務	被災状況把握業務	地震又は風水害等による下水道管路施設の被災時に行う緊急的な対応業務。被災状況の確認、二次災害を防止するための緊急措置等、地方公共団体による対応を支援するもの。	
	緊急措置対応業務		
レ ベ ル 3.5	更新計画策定更新（改築）業務	更新計画（ストックマネジメント計画）策定業務	下水道ストックマネジメント支援制度により事業を実施するための計画であり、次の 4 項目について記載が必要である。 ①ストックマネジメント実施の基本方針、②施設の管理区分の設定、③改築実施計画（計画期間は 5 年以内とする。）、④ストックマネジメントの導入によるコスト縮減効果
		コンストラクション・マネジメント	工事における業務を管理者側に立って技術的な中立性を保ちながらマネジメントを行う業務
		改築設計業務	下記改築工事に係る設計業務
		改築工事（更生）	排水区域の拡張等に起因しない「対象施設」の全部若しくは一部の再建設又は取替えを行うこと。 ①更新：改築のうち、「対象施設」の全部の再建設又は取替えを行うこと。
		改築工事（掘削）	②長寿命化対策：改築のうち、「対象施設」の一部の再建設又は取替えを行うことであって、更生工法あるいは部分取替え等により既存のストックを活用し、耐用年数の延伸に寄与するもの。

※1 給排水窓口業務の概要

(排水・窓口)

- ・ 本管の敷設状況や宅内排水図面の照会等、不動産物件調査に係る問合せ対応業務
- ・ 排水設備等の設計施工に係る問合せ対応や設計審査、現地確認業務
- ・ 排水設備等の設計施工に係る事務処理業務
- ・ 排水設備等指定工事店の指定に係る事務処理業務
- ・ 下水本管の取出し工事の立会
- ・ 住民問合せ（宅内排水設備のトラブル）の対応

(給水・窓口)

- ・ 埋設管調査対応
- ・ 給水装置工事申込受付から竣工検査対応、工事に関連する審査や各種事務手続き
- ・ 苦情対応や突発的な破損や修繕の対応、断水立会、穿孔立会
- ・ 給水装置所有者変更の受付及び管理
- ・ 定期的なドレン業務や貯水槽調査、残留塩素や水圧の測定等、水質の維持に係る業務
- ・ メーター出庫管理・交換業務
- ・ 給水装置工事事業者の指定・更新に係る業務

4.2 ポンプ場等（雨水ポンプ場、マンホールポンプ）施設

表 4-2 業務の定義（ポンプ場等施設）（1/2）

維持管理レベル	業務区分		定義
—	統括管理業務		管路施設における統括管理業務と同様
レベル 1	運転監視操作業務		・省エネ・効率運転で管理費削減に努める。 ・各機器の機能を理解し、計画に基づき適正に運転操作を行う。 ・操作上の問題は市に報告・協議し速やかに是正する。
	保守点検業務	施設及び設備の保守点検	・業務開始時に装置の点検を行い、異常があれば市に報告する。 ・機器の耐用を保つため日常・定期の点検整備を実施する。 ・日常点検は五感による観察も含め異常があれば報告・記録する。 ・定期点検はデータに基づき異常の有無を把握する。 ・点検は市と協議した計画に基づき実施し報告する。 ・点検計画は関連指針に基づき施設特性を考慮して策定する。 ・各機器が正常稼働できるよう日常的に整備を行う。
		法定点検等	・電気設備保守点検業務 ・防災設備点検業務 ・雨水エンジン点検整備業務等
	軽易な修理造作		・現場で可能な修理は市と協議・承諾の上で対応する。（緊急時は応急措置も含む）。 ・軽易な設備改良は市と協議のうえで実施する。
	小規模修繕		・性能維持を目的に予防保全の観点で修繕を実施する（高度作業は除く）。 ・修繕計画を立て市と協議し、内容説明や完了報告を提出する。
	一般廃棄物の収集運搬業務		下水道事業系一般廃棄物の収集運搬業務 ・ポンプ場から発生する一般ごみ及び資源ごみの収集運搬を行う。
	産業廃棄物の収集運搬業務		下水道事業系産業廃棄物の収集運搬業務 ・ポンプ場から発生する産業廃棄物の収集運搬を行う。
	防火・清掃業務		・火気管理・消火訓練を行い、火災を予防する。 ・施設内外の清掃・整理を常時行う。
	災害対応業務	被災状況把握	・施設・設備の突発故障対応
		緊急措置対応	・災害時初期対応等業務上発生する緊急対応（緊急調査を含む）

表 4-3 業務の定義（ポンプ場等施設）(2/2)

維持管理 レベル	業務区分			定義
レベル 2	物品等の調達及び管理に関する業務	調達業務	備消耗品	・ 備消耗品（変動費に含まれる対象品目） 監視機器用備消耗品 機器用消耗部品 点検用消耗品 その他消耗品 ・ 備消耗品（変動費に含まれない品目） 整備用品、補修用材料 補修用工具、測定器具類 水質試験類、記録用紙類 衛生用品、安全衛生器具類 リース料、燃料費、保険料 タービンオイル N2 消火材
			重油等燃料	・ A 重油 ・ 灯油、軽油
		支払業務		・ 通信費 ・ 水道代 ・ 電気代
		レベル 2.5 ～ 3	修繕計画案 作成業務	
修繕業務 （分解を伴う）			問題が見つかった個所を部分的に補強あるいは交換する業務	
レベル 3.5	更新計画策定・更新(改築)業務	更新計画 (ストックマネジメント計画) 策定業務		下水道ストックマネジメント支援制度により事業を実施するための計画であり、次の 4 項目について記載が必要である。①ストックマネジメント実施の基本方針、②施設の管理区分の設定、③改築実施計画（計画期間は 5 年以内とする。）、④ストックマネジメントの導入によるコスト縮減効果
		コンストラクション・マネジメント業務		工事における業務を管理者側に立って技術的な中立性を保ちながらマネジメントを行う業務
		改築実施設計業務		下記改築工事に係る設計業務
		改築工事		排水区域の拡張等に起因しない「対象施設」の全部若しくは一部の再建設又は取替えを行うこと。 ①更新：改築のうち、「対象施設」の全部の再建設又は取替えを行うこと。 ②長寿命化対策：改築のうち、「対象施設」の一部の再建設又は取替えを行うことであって、部分取替え等により既存のストックを活用し、耐用年数の延伸に寄与するもの。

5 参考資料

5.1 特定公共下水道事業

5.1.1 業務実績

特定公共下水道事業の年間計画排水量は 68,400,000m³（≒186,885m³/日）であり、管路延長は 7 kmです。業務実績を表 5-1 に示します。

なお、本事業では処理場を有しておりません。

表 5-1 業務実績（特定公共下水道事業）

項 目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度①	令和6年度②	前年度比較	
							増 減 ②－①	比 率
計画排水量(A)		m ³	68,400,000	68,400,000	68,400,000	68,400,000	0	100.00
年間計画排水量(B)		m ³	68,400,000	68,400,000	68,400,000	68,400,000	0	100.00
年間排水実績量(C)		m ³	54,700,602	58,129,012	61,592,542	57,686,357	△ 3,906,185	93.66
排水使用(者)		人	1	1	1	1	0	100.00
一日排水能力(D)		m ³	200,000	200,000	200,000	200,000	0	100.00
1日平均排水量(E)		m ³	149,865	159,258	168,286	158,045	△ 10,241	93.91
1日最大排水量		m ³	200,000	200,000	200,000	200,000	0	100.00
排水管総延長		km	7	7	7	7	0	100.00
使用料(10m ³)		円	21.5	21.5	21.5	21.5	0	100.00
総収益(F)		円	183,751,860	183,859,457	181,266,232	183,293,439	2,027,207	101.12
総費用(G)		円	142,585,740	155,306,118	154,833,726	166,701,817	11,868,091	107.67
収益(F)－(G)		円	41,166,120	28,553,339	26,432,506	16,591,622	△ 9,840,884	62.77
利益剰余金		円	863,091,043	891,644,382	918,076,888	934,668,510	16,591,622	101.81
職員数		人	1	1	1	1	0	100.00
施設 利用 率	B/A	%	100.00	100.00	100.00	100.00	0	100.00
	C/A	%	79.97	84.98	90.05	84.34	△ 5.71	93.66
	E/D	%	74.93	79.63	84.14	79.02	△ 5.12	93.91

出典：R6 事業会計決算審査調書

5.1.2 経営状況

年度別損益構成比較表と経営比較分析表を表 5-2～表 5-4 に示します。

表 5-2 年度別損益構成比較表（特定公共下水道事業、税抜き）

（単位：円、％）

科 目	令和4年度		令和5年度(イ)			令和6年度(ロ)		比較増減(ロ)-(イ)		備 考
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	前年度比	金 額	構 成 比	金 額	比 率	
下水道事業収益(A)	183,859,457	100.00	181,266,232	100.00	98.59	183,293,439	100.00	2,027,207	101.12	
1. 営業収益	147,060,000	79.99	147,060,000	81.13	100.00	147,060,000	80.23	0	100.00	
(1)使用料	147,060,000	79.99	147,060,000	81.13	100.00	147,060,000	80.23	0	100.00	
2. 営業外収益	36,799,457	20.01	34,206,232	18.87	92.95	36,233,439	19.77	2,027,207	105.93	
(1)受取利息	26,253	0.01	25,637	0.01	97.65	237,962	0.13	212,325	928.20	
(2)その他雑収益	5,292	0.00	7,345	0.00	138.79	2,821	0.00	△ 4,524	38.41	
(3)補助金	1,415,000	0.77	1,510,000	0.84	106.71	2,119,000	1.16	609,000	140.33	
(4)長期前受金戻入	35,352,912	19.23	32,663,250	18.02	92.39	33,873,656	18.48	1,210,406	103.71	

科 目	令和4年度		令和5年度(イ)			令和6年度(ロ)		比較増減(ロ)-(イ)		備 考
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	前年度比	金 額	構 成 比	金 額	比 率	
下水道事業費用(B)	155,306,118	100.00	154,833,726	100.00	99.70	166,701,817	100.00	11,868,091	107.67	
1. 営業費用	152,094,101	97.93	150,370,407	97.12	98.87	160,565,344	96.31	10,194,937	106.78	
(1)排水管理費	71,129,394	45.79	70,334,032	45.42	98.88	80,015,710	47.99	9,681,678	113.77	
(2)総係費	10,990,969	7.08	10,583,738	6.84	96.29	7,961,133	4.78	△ 2,622,605	75.22	
(3)減価償却費	69,973,738	45.06	69,452,637	44.86	99.26	72,588,501	43.54	3,135,864	104.52	
(4)資産減耗費	0	0.00	0	0.00	-	0	0.00	0	-	
2. 営業外費用	3,212,017	2.07	4,463,319	2.88	138.96	6,136,473	3.69	1,673,154	137.49	
(1)支払利息及び取扱諸費	3,083,381	1.99	4,326,047	2.79	140.30	5,943,836	3.57	1,617,789	137.40	
(2)雑支出	128,636	0.08	137,272	0.09	106.71	192,637	0.12	55,365	140.33	
差引純利益(A)-(B)	28,553,339	-	26,432,506	-	-	16,591,622	-	△ 9,840,884	-	

出典：R6 事業会計決算審査調査書

表 5-3 経営比較分析表（特定公共下水道事業）(1)

項 目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	前年度比較 (B)-(A)	比 率 算 式 (数 値)	備 考
構 成 比 率	1 固 定 資 産 構 成 比 率	%	70.94	71.54	72.34	72.31	△ 0.03	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{固 定 資 産} + \text{流 動 資 産} + \text{繰 延 資 産}} = \frac{2,681,678,609}{3,708,705,578} \times 100$	比率が高い場合は、運転資金を圧迫するので、低率ほどよい。
	2 固 定 負 債 構 成 比 率	%	18.07	19.39	21.10	21.70	0.6	$\frac{\text{固 定 負 債}}{\text{負 債 資 本 合 計}} = \frac{804,705,341}{3,708,705,578} \times 100$	比率が高い場合は、資金運営の安定性を表す反面、経費の増大をきたし、低い場合は自己資本が多いのであればよいが、流動負債が多ければ良好とはいえない。
	3 自 己 資 本 構 成 比 率	%	81.00	79.01	77.94	77.31	△ 0.63	$\frac{\text{資 本 金} + \text{剰 余 金} + \text{繰 延 収 益}}{\text{負 債 資 本 合 計}} = \frac{2,867,203,866}{3,708,705,578} \times 100$	公営事業として低率であることは止むをえないが、高率はよい。
財 務 比 率	4 固 定 比 率	%	87.58	90.55	92.82	93.53	0.71	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{資 本 金} + \text{剰 余 金} + \text{繰 延 収 益}} = \frac{2,681,678,609}{2,867,203,866} \times 100$	固定資産が自己資本によってまかなわれるべきであるとする企業財政上の原則から、100%以下が望ましい。
	5 固 定 資 産 対 長 期 資 本 比 率	%	71.61	72.71	73.04	73.03	△ 0.01	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{資 本 金} + \text{剰 余 金} + \text{固 定 負 債} + \text{繰 延 収 益}} = \frac{2,681,678,609}{3,671,909,207} \times 100$	100%以下が望ましい。
	6 流 動 比 率	%	3,099.95	1,772.97	2,873.86	2,791.11	△ 82.75	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}} = \frac{1,027,026,969}{36,796,371} \times 100$	割合は企業の健全性を示し、高率ほどよい。
	7 当 座 比 率	%	3,099.95	1,772.97	2,873.86	2,791.11	△ 82.75	$\frac{\text{現 金 預 金} + (\text{未 収 金} - \text{貸 倒 引 当 金})}{\text{流 動 負 債}} = \frac{1,027,026,969}{36,796,371} \times 100$	割合は支払能力を示し、高率ほどよい。
	8 現 金 預 金 比 率	%	3,042.72	1,736.67	2,787.76	2,750.80	△ 36.96	$\frac{\text{現 金 預 金}}{\text{流 動 負 債}} = \frac{1,012,193,126}{36,796,371} \times 100$	割合は支払能力及び手持現金の適正を示し、高率ほどよい。
	9 流 動 負 債 比 率	%	1.16	2.03	1.23	1.28	0.05	$\frac{\text{流 動 負 債}}{\text{資 本 金} + \text{剰 余 金} + \text{繰 延 収 益}} = \frac{36,796,371}{2,867,203,866} \times 100$	流動負債比率は負債比率の補助比率である。負債比率が100%を超える場合であっても、75%以下を標準としている。

出典：R6 事業会計決算審査調査書

表 5-4 経営比較分析表（特定公共下水道事業）（2）

項 目	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	前年度比較 (B)-(A)	比 率 算 式 (数 値)	備 考
回 転 率	10 自 己 資 本 回 転 率	0.06	0.06	0.05	0.05	0.00	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{平均（自己資本）}} = \frac{147,060,000}{2,835,512,565}$ (R5 2,803,821,264 + R6 2,867,203,866)	自己資本の活動性を示し、大きい数値ほどよい。
	11 流 動 資 産 回 転 率	0.16	0.15	0.15	0.15	0.00	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{平均（流動資産）}} = \frac{147,060,000}{1,011,034,210}$ (R5 995,041,450 + R6 1,027,026,969)	現金預金・未収金・貯蔵品回転率等を包括するもので、これらの回転率が高くなれば、それに応じて高くなる。
	12 現 金 預 金 回 転 率	0.34	0.37	0.36	0.28	△ 0.08	$\frac{\text{当 年 度 支 出 額}}{\text{平 均 現 金 ・ 預 金}} = \frac{273,715,276}{988,711,287}$ (R5 965,229,448 + R6 1,012,193,126)	現金預金在高と1年間に企業から流出した現金預金の総額との関係で、現金預金の流れの速度を測定する。
収 益 率	13 総資本利益率	1.32	0.86	0.76	0.45	△ 0.31	$\frac{\text{当 年 度 経 常 利 益}}{\text{平 均（総資本合計）}} = \frac{16,591,622}{3,653,112,569} *100$ (R5 3,597,519,560 + R6 3,708,705,578)	投入した資本の経営成果を示し、高率ほど良い。
	14 総収益対総費用比率	128.87	118.39	117.07	109.95	△ 7.12	$\frac{\text{総 収 益}}{\text{総 費 用}} = \frac{183,293,439}{166,701,817} *100$	割合は100%以下であれば損失を示し、高率ほど良い。
そ の 他	15 利子負担率	0.42	0.45	0.55	0.71	0.16	$\frac{\text{支 払 利 息}}{\text{建設改良企業債・長期借入金+その他企業債・長期借入金+一時借入金}} = \frac{5,943,836}{834,574,446} *100$	借入資本利子を貸借対照表に示された負債との利子率を示し、低率ほど良い。
	16 企業債償還額対償還財源比率	16.53	21.53	25.27	31.19	5.92	$\frac{\text{企 業 債 償 還 額}}{\text{減 価 償 却 費 + 当 年 度 純 利 益}} = \frac{27,812,960}{89,180,123} *100$	比率は低率ほど良い。

※ 比率算式欄余白に該当数値を記入してください。
※ 小数点以下第3位四捨五入のこと。
※ 自己資本＝資本金＋剰余金＋繰延収益
総資産＝固定資産－引当金＋流動資産＋繰延勘定

平均＝(期首＋期末)＊1/2
当年度支出額＝(収益的支出－減価償却費－資産減耗費－特別損失)＋(資本的支出－消費税)
総資本＝資本＋負債

出典：R6 事業会計決算審査調書

5.2 水道事業

5.2.1 業務実績

水道事業の計画給水人口は 55,740 人、給水量は $5,317,173\text{m}^3$ ($\div 14,528\text{m}^3/\text{日}$) です。また、令和 6 年度末の排水管総延長は 292,036m です。業務実績を表 5-5 に示します。

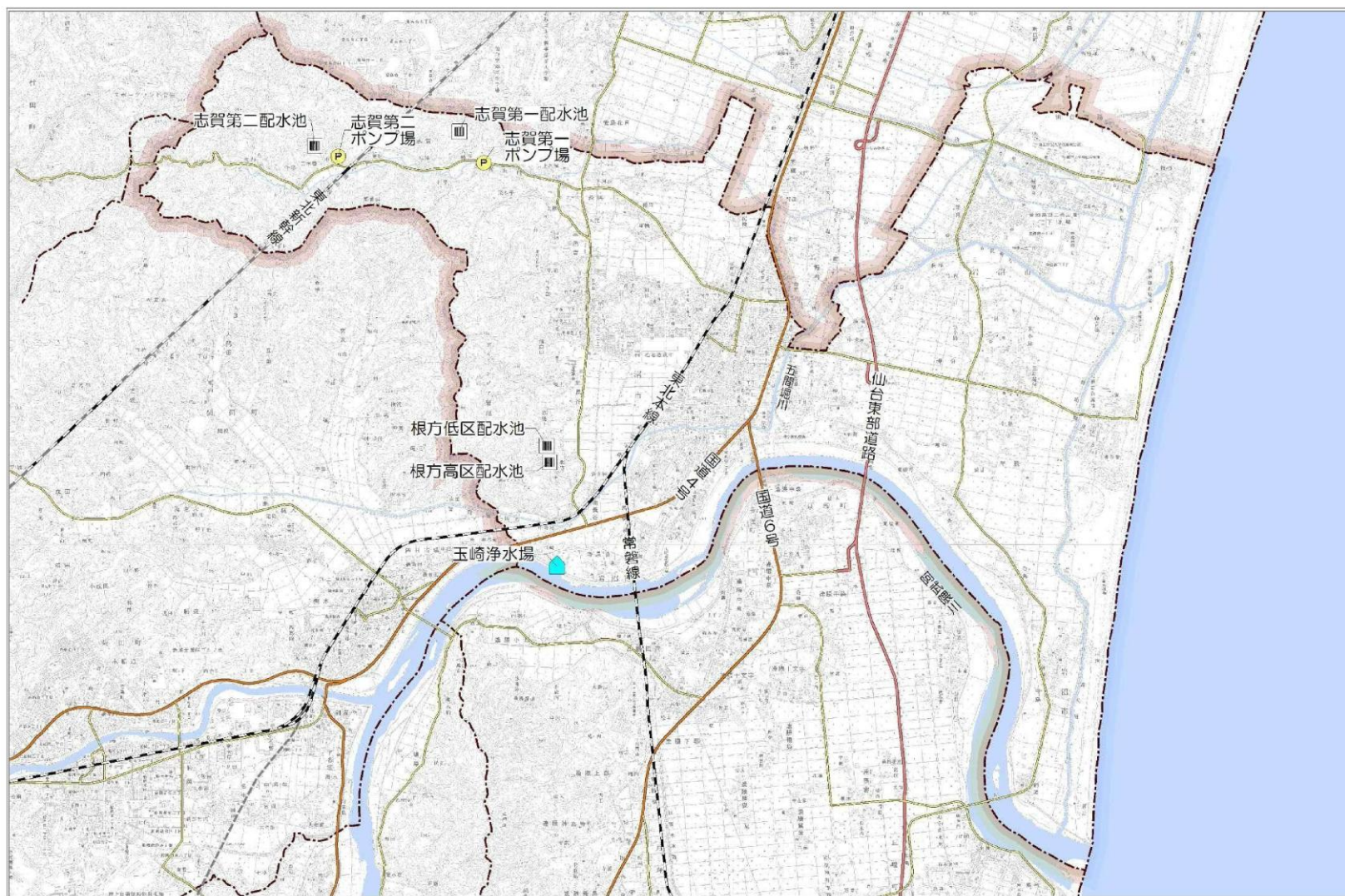
また、浄水場は 1 箇所、ポンプ場は 2 箇所、配水池は 4 箇所を有しています。施設位置図を図 5-1 に示します。次に、岩沼市水道事業アセットマネジメント報告書（R3.3 改訂）で整理されている管路情報を図 5-2～図 5-4 に示します。最も古い管路は昭和 30 年であり、敷設から 70 年経過しています。更新需要については、更新基準で更新した場合は令和 2 年度から令和 41 年度で約 2,429,700 万円（年平均約 6,700 万）となっています。

表 5-5 業務実績（水道事業）

項 目	年 度	単 位	令 和 2 年 度	令 和 3 年 度	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度 ①	令 和 6 年 度 ②	前 年 度 比 較		備 考
								増減②－①	比 率	
人口・戸数	計画給水人口	人	55,740	55,740	55,740	55,740	55,740	0	100.00	計画による給水人口
	行政人口 (A)	人	43,906	43,779	43,489	43,387	42,960	△ 427	99.02	
	給水区域内人口 (B)	人	43,906	43,779	43,489	43,387	42,960	△ 427	99.02	
	給水区域内戸数	戸	18,342	18,500	18,747	19,012	19,120	108	100.57	
	年度末給水人口 (C)	人	43,885	43,759	43,469	43,368	42,941	△ 427	99.02	
	給水戸数	戸	18,334	18,493	18,740	19,006	19,114	108	100.57	
	普及率 (C/A)	%	99.95	99.95	99.95	99.96	99.96	0.00	100.00	
仙南広域水道	最終水量 (1)	千m ³	2,920	2,920	2,920	2,928	2,920	△ 8	99.73	月別受水量調査:添付 基本料金 @799 受水料金 @41
	受入水量 (2)	千m ³	2,920	2,920	2,920	2,928	2,920	△ 8	99.73	
	受入経費 (3)	千円	336,914	336,367	336,375	336,703	328,776	△ 7,927	97.65	
	受入水量単価 (3)/(2)	円	115.38	115.19	115.20	114.99	112.59	△ 2.40	97.91	
取水水量	玉崎浄水場	m ³	2,756,720	2,672,579	2,539,638	2,641,708	2,617,760	△ 23,948	99.09	月別取水水量調査:添付
	仙南広域水道	m ³	2,919,735	2,919,962	2,920,184	2,928,002	2,920,029	△ 7,973	99.73	
	計 (年間)	m ³	5,676,455	5,592,541	5,459,822	5,569,710	5,537,789	△ 31,921	99.43	
給水量	玉崎浄水場	m ³	2,522,966	2,423,490	2,330,875	2,402,011	2,397,144	△ 4,867	99.80	月別給水量調査:添付
	仙南広域水道	m ³	2,919,735	2,919,962	2,920,184	2,928,002	2,920,029	△ 7,973	99.73	
	計 (年間) (D)	m ³	5,442,701	5,343,452	5,251,059	5,330,013	5,317,173	△ 12,840	99.76	
有効水量	有収水量 (E)	m ³	4,746,636	4,757,334	4,679,858	4,728,502	4,702,990	△ 25,512	99.46	月別有効(有収・無収)及び無効水量測定実績調査:添付
	有収率 (E/D)	%	87.21	89.03	89.12	88.71	88.45	△ 0.26	99.71	
	所水量	m ³	61,834	60,271	45,660	52,480	47,874	△ 4,606	91.22	
	メーター機差水量	m ³	217,709	213,739	210,042	213,201	212,689	△ 512	99.76	
	その他	m ³	16,120	688	336	594	256	△ 338	43.10	
	計 (F)	m ³	295,663	274,698	256,038	266,275	260,819	△ 5,456	97.95	
	無収率 (F/D)	%	5.43	5.14	4.88	5.00	4.91	△ 0.09	98.20	
	有効水量 (E+F) G	m ³	5,042,299	5,032,032	4,935,896	4,994,777	4,963,809	△ 30,968	99.38	
	有効率 (G/D)	%	92.64	94.17	94.00	93.71	93.35	△ 0.36	99.62	

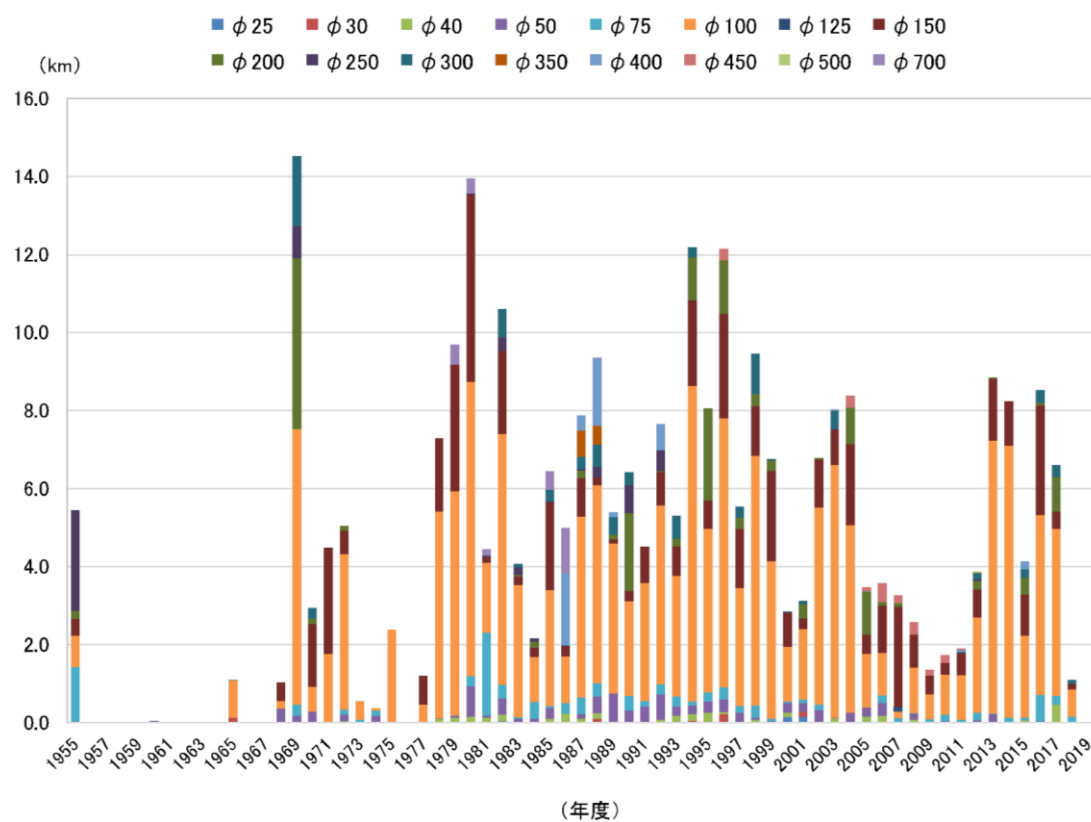
項 目	年 度	単 位	令 和 2 年 度	令 和 3 年 度	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度 ①	令 和 6 年 度 ②	前 年 度 比 較		備 考
								増減②－①	比 率	
無効水	漏水その他水量 (D-G)H	m ³	400,402	311,420	315,163	335,236	353,364	18,128	105.41	
	無効率 (H/D)	%	7.36	5.83	6.00	6.29	6.65	0.36	105.72	
一日給水能力 (I)		m ³	25,050	25,050	25,050	25,050	25,050	0	100.00	
一日最大給水量 (J)		m ³	16,895	16,719	16,358	16,124	16,235	111	100.69	
一日平均給水量 (K)		m ³	14,912	14,640	14,386	14,563	14,568	5	100.03	
一日平均有収水量 (L)		m ³	13,004	13,034	12,822	12,919	12,885	△ 34	99.74	
一人一日最大給水量 (J/C)	ℓ		385	382	376	372	378	6	101.61	
一人一日平均給水量 (K/C)	ℓ		340	335	331	336	339	3	100.89	
使用給水せん数	せん		19,294	19,442	19,543	19,626	19,705	79	100.40	月別口徑別使用せん数調査:添付 口徑別配水管布設延長・種別内訳調査:添付
配水管総延長	m		290,151	290,570	291,391	291,609	292,036	427	100.15	
総収益	千円		1,296,070	1,467,108	1,278,887	1,265,396	1,272,327	6,931	100.55	
うち給水収益	千円		1,120,930	1,132,296	1,123,844	1,144,846	1,142,045	△ 2,801	99.76	
総費用	千円		1,143,055	1,300,254	1,118,210	1,121,183	1,104,533	△ 16,650	98.51	
当年度収支額	千円		153,015	166,854	160,677	144,213	167,794	23,581	116.35	
当年度未処分剰余金	千円		238,345	355,648	274,736	144,213	167,794	23,581	116.35	
※料金改定			(昭和61年5月徴収から) (平成2年5月徴収から) (平成7年8月徴収から)							
職員数	人		12	11	12	12	12	0	100.00	

出典：R6 事業会計決算審査調書



出典：岩沼市水道事業ビジョン

図 5-1 施設の位置図



出典：岩沼市水道事業アセットマネジメント報告書（R3.3 改訂）

図 5-2 口径・敷設年度別管路延長

図 4-9 及び図 4-10 に、法定耐用年数及び更新基準で更新した場合の更新需要（構造物及び設備と管路の総額）をそれぞれ示す。双方とも、耐用年数及び更新基準を超過して使用している資産の更新が集中する 2020（R2）年度の更新需要が最も大きい。

また、2020（R2）年度～2059（R41）年度の 40 年間の更新需要総額は、法定耐用年数が約 357 億 1 千 7 百万円（年平均 約 8 億 9 千 3 百万円）、更新基準ベースが約 242 億 9 千 7 百万円（年平均 約 6 億 7 百万円）となる。

なお、100 年間の一定期間別の更新需要額を表 4.6 及び表 4.7 に示している。更新基準で更新した場合、近 10 年間の更新需要額は年平均 7 億 6 千 1 百万円、20 年間の更新需要額は年平均 7 億 8 百万円となっている。

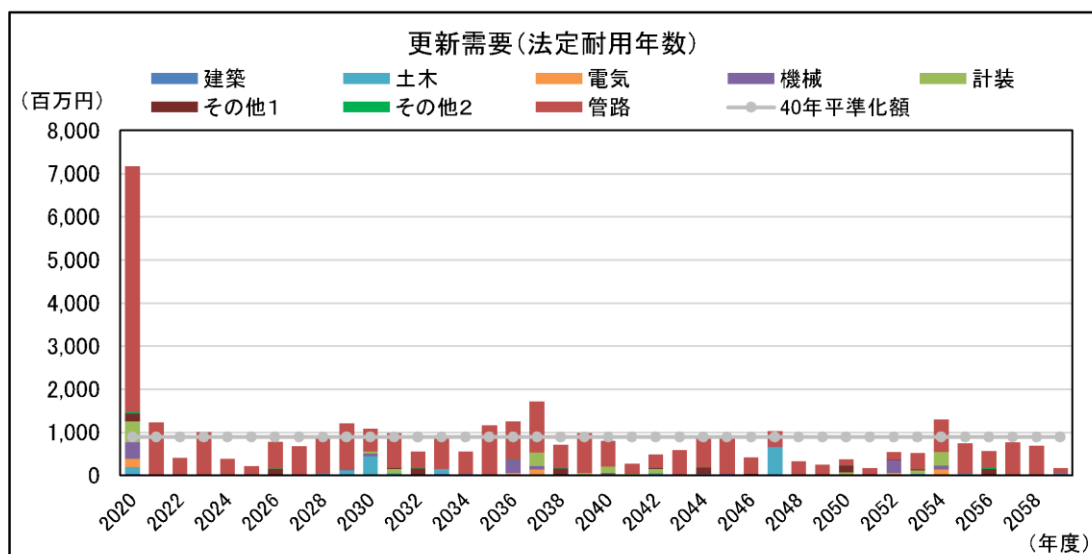


図 4-9 更新需要（法定耐用年数）

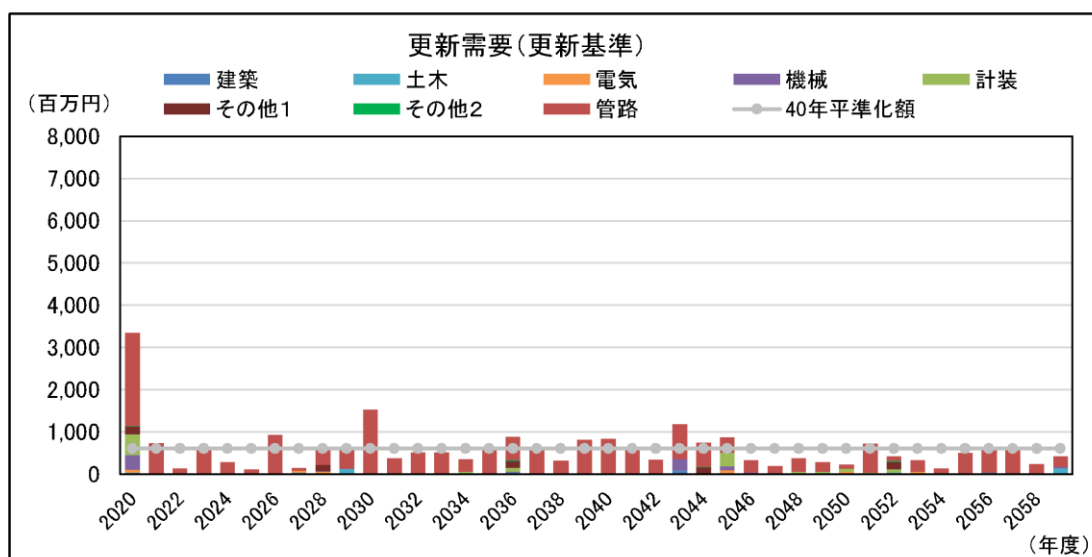


図 4-10 更新需要（更新基準）

出典：岩沼市水道事業アセットマネジメント報告書（R3.3 改訂）

図 5-3 更新需要の説明（1）

表 4.6 一定期間別更新需要（法定耐用年数）

（単位：千円）

法定耐用年数で更新	10年間	20年間	40年間	60年間	80年間	100年間
	2020～ 2029年	2020～ 2039年	2020～ 2059年	2020～ 2079年	2020～ 2099年	2020～ 2119年
施設	1,896,217	4,149,625	7,130,537	9,523,840	12,791,885	16,228,874
建築	99,685	132,436	242,567	260,482	387,998	423,420
土木	308,060	935,702	1,760,940	2,037,856	2,904,258	3,829,645
電気	192,548	385,096	577,644	770,192	962,740	1,209,954
機械	421,454	920,745	1,470,953	2,017,307	2,573,519	3,425,915
計装	493,917	1,020,068	1,739,911	2,517,501	3,297,390	4,080,019
その他1（水質検査機器）	338,459	676,077	1,194,299	1,712,315	2,383,423	2,907,464
その他2（工具器具備品）	42,094	79,501	144,223	208,187	282,557	352,457
管路	12,070,165	19,729,266	28,586,887	47,392,393	57,071,413	75,453,841
合計	13,966,382	23,878,891	35,717,424	56,916,233	69,863,298	91,682,715
年平均	1,396,638	1,193,945	892,936	948,604	873,291	916,827

表 4.7 一定期間別更新需要（更新基準）

（単位：千円）

更新基準で更新	10年間	20年間	40年間	60年間	80年間	100年間
	2020～ 2029年	2020～ 2039年	2020～ 2059年	2020～ 2079年	2020～ 2099年	2020～ 2119年
施設	1,643,169	2,098,689	4,095,979	7,266,781	9,180,822	10,899,996
建築	30,909	31,672	133,199	175,317	256,325	262,008
土木	175,163	204,619	445,489	1,739,447	1,949,412	2,120,371
電気	192,548	192,548	385,096	577,644	713,105	824,858
機械	383,608	453,984	902,962	1,472,672	1,945,570	2,341,543
計装	491,618	640,804	1,271,507	1,799,627	2,430,330	2,893,741
水質検査機器	332,642	514,096	852,555	1,346,966	1,687,810	2,201,065
工具器具備品	36,681	60,966	105,171	155,108	198,270	256,410
管路	5,962,054	12,058,164	20,200,729	26,802,082	37,424,935	44,263,841
合計	7,605,223	14,156,853	24,296,708	34,068,863	46,605,757	55,163,837
年平均	760,522	707,843	607,418	567,814	582,572	551,638

出典：岩沼市水道事業アセットマネジメント報告書（R3.3 改訂）

図 5-4 更新需要の説明（2）

5.2.2 経営状況

年度別損益構成比較表と経営比較分析表を表 5-2～表 5-4 に示す。

表 5-6 年度別損益構成比較表（水道事業、税込）（上：収益の収支・下：資本の収支）

(単位:円、%)

区 分	令和5年度			令和6年度							前年度対比		
	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	執行率	予 算 額			決 算 額 (D)	翌年度 繰越額(E)	差 引 額 (D) + (E) - (C)	執行率	予 算 額 (C) - (A)	決 算 額 (D) - (B) = (F)	比 率 (F/B)
				当 初	繰越・補正等	合 計 (C)							
1.水道事業収益(イ)	1,376,417,000	1,384,925,067	100.62	1,401,071,000	△ 37,366,000	1,363,705,000	1,391,577,084	0	27,872,084	102.04	△ 12,712,000	6,652,017	0.48
(1)営業収益	1,296,746,000	1,315,002,156	101.41	1,287,536,000	0	1,287,536,000	1,306,783,194	0	19,247,194	101.49	△ 9,210,000	△ 8,218,962	△ 0.63
(2)営業外収益	71,668,000	69,922,911	97.57	106,532,000	△ 37,366,000	69,166,000	68,869,376	0	△ 296,624	99.57	△ 2,502,000	△ 1,053,535	△ 1.51
(3)特別利益	8,003,000	0	0.00	7,003,000	0	7,003,000	15,924,514	0	8,921,514	227.40	△ 1,000,000	15,924,514	-
2.水道事業費用(ロ)	1,345,646,000	1,222,332,733	90.84	1,274,888,000	12,274,000	1,287,162,000	1,186,507,403	3,493,000	△ 97,161,597	92.18	△ 58,484,000	△ 35,825,330	△ 2.93
(1)営業費用	1,280,668,000	1,159,836,694	90.56	1,237,352,000	5,000	1,237,357,000	1,141,997,528	3,493,000	△ 91,866,472	92.29	△ 43,311,000	△ 17,839,166	△ 1.54
(2)営業外費用	62,877,000	62,495,939	99.39	35,435,000	12,269,000	47,704,000	44,508,206	0	△ 3,195,794	93.30	△ 15,173,000	△ 17,987,733	△ 28.78
(3)特別損失	1,101,000	100	0.01	1,101,000	0	1,101,000	1,669	0	△ 1,099,331	0.15	0	1,569	1,569.00
(4)予備費	1,000,000	0	0.00	1,000,000	0	1,000,000	0	0	△ 1,000,000	0.00	0	0	-
差引額 (イ) - (ロ)	30,771,000	162,592,334	-	126,183,000	△ 49,640,000	76,543,000	205,069,681	△ 3,493,000	125,033,681	-	45,772,000	42,477,347	-

(単位:円、%)

区 分	令和5年度			令和6年度							前 年 度 対 比		
	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	執行率	予 算 額			決 算 額 (D)	翌年度 繰越額(E)	差 引 額 (D) + (E) - (C)	執行率	予 算 額 (C) - (A)	決 算 額 (D) - (B) = (F)	比 率 (F/B)
				当 初	繰越・補正等	合 計 (C)							
1.資本の収入(イ)	471,380,000	154,241,200	32.72	337,636,000	147,878,000	485,514,000	259,034,700	0	△ 226,479,300	53.35	14,134,000	104,793,500	67.94
(1)企業債	461,500,000	149,300,000	32.35	320,000,000	141,300,000	461,300,000	245,200,000	0	△ 216,100,000	53.15	△ 200,000	95,900,000	64.23
(2)出資金	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	-	0	0	-
(3)負担金	3,301,000	4,941,200	149.69	14,301,000	0	14,301,000	7,256,700	0	△ 7,044,300	50.74	11,000,000	2,315,500	46.86
(4)補助金	6,578,000	0	0.00	3,334,000	6,578,000	9,912,000	6,578,000	0	△ 3,334,000	66.36	3,334,000	6,578,000	-
(5)固定資産売却代金	1,000	0	0.00	1,000	0	1,000	0	0	△ 1,000	0.00	0	0	-
2.資本の支出(ロ)	927,848,000	419,632,736	45.23	668,799,000	301,686,000	970,485,000	548,475,929	240,423,000	△ 181,586,071	56.52	42,637,000	128,843,193	30.70
(1)建設改良費	744,545,000	238,330,688	32.01	494,178,000	301,686,000	795,864,000	375,856,105	240,423,000	△ 179,584,895	47.23	51,319,000	137,525,417	57.70
(2)企業債償還金	182,303,000	181,302,048	99.45	173,621,000	0	173,621,000	172,619,824	0	△ 1,001,176	99.42	△ 8,682,000	△ 8,682,224	△ 4.79
(3)予備費	1,000,000	0	0.00	1,000,000	0	1,000,000	0	0	△ 1,000,000	0.00	0	0	-
差引額 (イ)-(ロ)	△ 456,468,000	△ 265,391,536	-	△ 331,163,000	△ 153,808,000	△ 484,971,000	△ 289,441,229	△ 240,423,000	△ 44,893,229	-	△ 28,503,000	△ 24,049,693	-

※資本の収入額が資本の支出額に対し不足する額は下記により補てんした。

過年度分損益勘定留保資金	15,683,221 円
当年度分損益勘定留保資金	237,174,348 円
減価積立金	円
建設改良積立金	円
繰越利益剰余金	円
当年度分消費税及び地方消費税資本の収支調整額	36,583,660 円
計	289,441,229 円

出典：R6 事業会計決算審査調書

表 5-7 経営比較分析表

項 目	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	前年度比較 (B)-(A)	比 率 算 式 (余 白 に 数 値 を 記 入)	備 考
1 負 荷 率	%	87.57	87.94	90.32	89.73	△ 0.59	$\frac{\text{一日平均給水量}}{\text{一日最大給水量}} \times 100$ $\frac{14,568}{16,235} \times 100$	一日の最大給水量に対し、一日平均給水量がどれくらいであったかをみる。
2 施 設 利 用 率	%	58.44	57.43	58.14	58.15	0.01	$\frac{\text{一日平均給水量}}{\text{一日給水能力}} \times 100$ $\frac{14,568}{25,050} \times 100$	一日の給水能力に対し、一日平均給水量の割合をもって、その施設の利用率をみる。
3 最 大 稼 働 率	%	66.74	65.30	64.37	64.81	0.44	$\frac{\text{一日最大給水量}}{\text{一日給水能力}} \times 100$ $\frac{16,235}{25,050} \times 100$	一日の給水能力に対し、最大の割合で一番多く給水した稼働の状態をみる。
4 有 収 率	%	89.03	89.12	88.71	88.45	△ 0.26	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総給水量}} \times 100$ $\frac{4,702,990}{5,317,173} \times 100$	給水された浄水のうち、料金として徴収される水量の割合をみる。
5 配水管使用効率	m	18.39	18.02	18.28	18.21	△ 0.07	$\frac{\text{年間総給水量}}{\text{導送配水管延長}}$ $\frac{5,317,173}{292,036}$	配水管の延長に対する年間の給水量の割合をみる。
6 固定資産使用効率 (1万円当たり)	m	7.09	6.96	7.15	7.04	△ 0.11	$\frac{\text{年間総給水量}}{\text{有形固定資産(未施工除く)}} \times 10,000$ $\frac{5,317,173}{7,554,747,790} \times 10,000$	有形固定資産1万円に対して何m給水したかをみる。比率で高いほど効率的に使用したことになる。
7 供 給 単 価	円	238.01	240.14	242.12	242.83	0.71	$\frac{\text{年間総給水収益(分水関係除く)}}{\text{年間総有収水量}}$ $\frac{1,142,045,053}{4,702,990}$	水1m当たりの供給単価を言い、給水原価より供給単価が下回ると収支均衡が困難となる。
8 給 水 原 価	円	223.17	221.98	224.02	221.71	△ 2.31	$\frac{\text{水道事業費用-受託工事等一長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}}$ $\frac{1,042,721,119}{4,702,990}$	水1mを給水するために要する費用をいう。決算資料11-1
9 職員1人当たり 給 水 人 口	人	3,978	3,622	3,614	3,303	△ 311	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定所属職員数}}$ $\frac{42,941}{13}$	職員1人に対する給水人口は何人であったかをみる。
10 職員1人当たり 給 水 量	ℓ	432,485	389,988	394,042	361,768	△ 32,274	$\frac{\text{有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$ $\frac{4,702,990}{13}$	職員1人に対する有収水量は何ℓであったかをみる。
11 職員1人当たり 営 業 収 益	千円	106,906	97,027	98,946	90,853	△ 8,093	$\frac{\text{営業収益-受託工事収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$ $\frac{1,181,092}{13}$	職員1人に対する年間営業収益をみる。
12 給水収益に対する 職員給与費割合	%	5.07	6.04	6.25	6.56	0.31	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{給水収益}} \times 100$ $\frac{74,908,711}{1,142,045,053} \times 100$	給水収益に対する給与費の占める割合。
13 営業費用に占める 職員給与費割合	%	5.11	6.28	6.58	6.99	0.41	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{営業費用}} \times 100$ $\frac{74,908,711}{1,072,093,971} \times 100$	営業費用に対する給与費の占める割合。

出典：R6 事業会計決算審査調書